



API リファレンス

IAM Access Analyzer



API バージョン 2019-11-01

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

IAM Access Analyzer: API リファレンス

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

Table of Contents

Welcome	1
アクション	2
ApplyArchiveRule	4
リクエストの構文	4
URI リクエストパラメータ	4
リクエストボディ	4
レスポンスの構文	5
レスポンス要素	5
エラー	5
以下の資料も参照してください。	6
CancelPolicyGeneration	8
リクエストの構文	8
URI リクエストパラメータ	8
リクエストボディ	8
レスポンスの構文	8
レスポンス要素	8
エラー	8
以下の資料も参照してください。	9
CheckAccessNotGranted	11
リクエストの構文	11
URI リクエストパラメータ	11
リクエストボディ	11
レスポンスの構文	12
レスポンス要素	13
エラー	13
以下の資料も参照してください。	14
CheckNoNewAccess	16
リクエストの構文	16
URI リクエストパラメータ	16
リクエストボディ	16
レスポンスの構文	17
レスポンス要素	17
エラー	18
以下の資料も参照してください。	19

CheckNoPublicAccess	21
リクエストの構文	21
URI リクエストパラメータ	21
リクエストボディ	21
レスポンスの構文	22
レスポンス要素	22
エラー	23
以下の資料も参照してください。	24
CreateAccessPreview	26
リクエストの構文	26
URI リクエストパラメータ	26
リクエストボディ	26
レスポンスの構文	27
レスポンス要素	27
エラー	27
以下の資料も参照してください。	29
CreateAnalyzer	31
リクエストの構文	31
URI リクエストパラメータ	31
リクエストボディ	31
レスポンスの構文	33
レスポンス要素	33
エラー	34
以下の資料も参照してください。	35
CreateArchiveRule	37
リクエストの構文	37
URI リクエストパラメータ	37
リクエストボディ	38
レスポンスの構文	38
レスポンス要素	38
エラー	38
以下の資料も参照してください。	40
DeleteAnalyzer	42
リクエストの構文	42
URI リクエストパラメータ	42
リクエスト本文	42

レスポンスの構文	42
レスポンス要素	42
エラー	43
以下の資料も参照してください。	44
DeleteArchiveRule	45
リクエストの構文	45
URI リクエストパラメータ	45
リクエストボディ	45
レスポンスの構文	45
レスポンス要素	46
エラー	46
以下の資料も参照してください。	47
GenerateFindingRecommendation	48
リクエストの構文	48
URI リクエストパラメータ	48
リクエストボディ	48
レスポンスの構文	48
レスポンス要素	48
エラー	49
以下の資料も参照してください。	49
GetAccessPreview	51
リクエストの構文	51
URI リクエストパラメータ	51
リクエストボディ	51
レスポンスの構文	51
レスポンス要素	52
エラー	52
以下の資料も参照してください。	53
GetAnalyzedResource	55
リクエストの構文	55
URI リクエストパラメータ	55
リクエストボディ	55
レスポンスの構文	55
レスポンス要素	56
エラー	56
以下の資料も参照してください。	57

GetAnalyzer	59
リクエストの構文	59
URI リクエストパラメータ	59
リクエストボディ	59
レスポンスの構文	59
レスポンス要素	60
エラー	60
以下の資料も参照してください。	61
GetArchiveRule	63
リクエストの構文	63
URI リクエストパラメータ	63
リクエストボディ	63
レスポンスの構文	63
レスポンス要素	64
エラー	64
以下の資料も参照してください。	65
GetFinding	67
リクエストの構文	67
URI リクエストパラメータ	67
リクエストボディ	67
レスポンスの構文	67
レスポンス要素	68
エラー	69
以下の資料も参照してください。	70
GetFindingRecommendation	71
リクエストの構文	71
URI リクエストパラメータ	71
リクエスト本文	71
レスポンスの構文	72
レスポンス要素	72
エラー	73
以下の資料も参照してください。	75
GetFindingsStatistics	76
リクエストの構文	76
URI リクエストパラメータ	76
リクエストボディ	76

レスポンスの構文	76
レスポンス要素	77
エラー	77
以下の資料も参照してください。	78
GetFindingV2	80
リクエストの構文	80
URI リクエストパラメータ	80
リクエスト本文	80
レスポンスの構文	81
レスポンス要素	81
エラー	83
以下の資料も参照してください。	84
GetGeneratedPolicy	86
リクエストの構文	86
URI リクエストパラメータ	86
リクエストボディ	86
レスポンスの構文	87
レスポンス要素	87
エラー	88
以下の資料も参照してください。	89
ListAccessPreviewFindings	90
リクエストの構文	90
URI リクエストパラメータ	90
リクエストボディ	90
レスポンスの構文	91
レスポンス要素	92
エラー	93
以下の資料も参照してください。	94
ListAccessPreviews	96
リクエストの構文	96
URI リクエストパラメータ	96
リクエスト本文	96
レスポンスの構文	96
レスポンス要素	97
エラー	97
以下の資料も参照してください。	98

ListAnalyzedResources	100
リクエストの構文	100
URI リクエストパラメータ	100
リクエストボディ	100
レスポンスの構文	101
レスポンス要素	101
エラー	102
以下の資料も参照してください。	103
ListAnalyzers	104
リクエストの構文	104
URI リクエストパラメータ	104
リクエスト本文	104
レスポンスの構文	104
レスポンス要素	105
エラー	105
以下の資料も参照してください。	106
ListArchiveRules	108
リクエストの構文	108
URI リクエストパラメータ	108
リクエスト本文	108
レスポンスの構文	108
レスポンス要素	109
エラー	109
以下の資料も参照してください。	110
ListFindings	112
リクエストの構文	112
URI リクエストパラメータ	113
リクエストボディ	113
レスポンスの構文	114
レスポンス要素	115
エラー	115
以下の資料も参照してください。	116
ListFindingsV2	118
リクエストの構文	118
URI リクエストパラメータ	118
リクエストボディ	118

レスポンスの構文	119
レスポンス要素	120
エラー	120
以下の資料も参照してください。	122
ListPolicyGenerations	123
リクエストの構文	123
URI リクエストパラメータ	123
リクエストボディ	123
レスポンスの構文	123
レスポンス要素	124
エラー	124
以下の資料も参照してください。	125
ListTagsForResource	127
リクエストの構文	127
URI リクエストパラメータ	127
リクエストボディ	127
レスポンスの構文	127
レスポンス要素	127
エラー	128
以下の資料も参照してください。	129
StartPolicyGeneration	130
リクエストの構文	130
URI リクエストパラメータ	130
リクエストボディ	130
レスポンスの構文	131
レスポンス要素	131
エラー	132
以下の資料も参照してください。	133
StartResourceScan	135
リクエストの構文	135
URI リクエストパラメータ	135
リクエストボディ	135
レスポンスの構文	136
レスポンス要素	136
エラー	136
以下の資料も参照してください。	137

TagResource	139
リクエストの構文	139
URI リクエストパラメータ	139
リクエストボディ	139
レスポンスの構文	139
レスポンス要素	140
エラー	140
以下の資料も参照してください。	141
UntagResource	142
リクエストの構文	142
URI リクエストパラメータ	142
リクエストボディ	142
レスポンスの構文	142
レスポンス要素	142
エラー	142
以下の資料も参照してください。	144
UpdateAnalyzer	145
リクエストの構文	145
URI リクエストパラメータ	145
リクエストボディ	145
レスポンスの構文	146
レスポンス要素	146
エラー	146
以下の資料も参照してください。	148
UpdateArchiveRule	149
リクエストの構文	149
URI リクエストパラメータ	149
リクエストボディ	150
レスポンスの構文	150
レスポンス要素	150
エラー	150
以下の資料も参照してください。	151
UpdateFindings	153
リクエストの構文	153
URI リクエストパラメータ	153
リクエストボディ	153

レスポンスの構文	154
レスポンス要素	154
エラー	154
以下の資料も参照してください。	156
ValidatePolicy	157
リクエストの構文	157
URI リクエストパラメータ	157
リクエストボディ	157
レスポンスの構文	159
レスポンス要素	160
エラー	160
以下の資料も参照してください。	161
データ型	162
Access	166
内容	166
以下の資料も参照してください。	166
AccessPreview	168
内容	168
以下の資料も参照してください。	169
AccessPreviewFinding	170
内容	170
以下の資料も参照してください。	173
AccessPreviewStatusReason	174
内容	174
以下の資料も参照してください。	174
AccessPreviewSummary	175
内容	175
以下の資料も参照してください。	176
AclGrantee	177
内容	177
以下の資料も参照してください。	177
AnalysisRule	178
内容	178
以下の資料も参照してください。	178
AnalysisRuleCriteria	179
内容	179

以下の資料も参照してください。	179
AnalyzedResource	181
内容	181
以下の資料も参照してください。	183
AnalyzedResourceSummary	184
内容	184
以下の資料も参照してください。	185
AnalyzerConfiguration	186
内容	186
以下の資料も参照してください。	186
AnalyzerSummary	187
内容	187
以下の資料も参照してください。	189
ArchiveRuleSummary	190
内容	190
以下の資料も参照してください。	191
CloudTrailDetails	192
内容	192
以下の資料も参照してください。	193
CloudTrailProperties	194
内容	194
以下の資料も参照してください。	194
Configuration	196
内容	196
以下の資料も参照してください。	198
Criterion	199
内容	199
以下の資料も参照してください。	200
DynamodbStreamConfiguration	201
内容	201
以下の資料も参照してください。	201
DynamodbTableConfiguration	202
内容	202
以下の資料も参照してください。	202
EbsSnapshotConfiguration	203
内容	203

以下の資料も参照してください。	204
EcrRepositoryConfiguration	205
内容	205
以下の資料も参照してください。	205
EfsFileSystemConfiguration	206
内容	206
以下の資料も参照してください。	206
ExternalAccessDetails	207
内容	207
以下の資料も参照してください。	208
ExternalAccessFindingsStatistics	209
内容	209
以下の資料も参照してください。	210
Finding	211
内容	211
以下の資料も参照してください。	214
FindingAggregationAccountDetails	215
内容	215
以下の資料も参照してください。	215
FindingDetails	216
内容	216
以下の資料も参照してください。	217
FindingSource	218
内容	218
以下の資料も参照してください。	218
FindingSourceDetail	219
内容	219
以下の資料も参照してください。	219
FindingsStatistics	220
内容	220
以下の資料も参照してください。	220
FindingSummary	222
内容	222
以下の資料も参照してください。	225
FindingSummaryV2	226
内容	226

以下の資料も参照してください。	228
GeneratedPolicy	229
内容	229
以下の資料も参照してください。	229
GeneratedPolicyProperties	230
内容	230
以下の資料も参照してください。	230
GeneratedPolicyResult	232
内容	232
以下の資料も参照してください。	232
IamRoleConfiguration	233
内容	233
以下の資料も参照してください。	233
InlineArchiveRule	234
内容	234
以下の資料も参照してください。	234
InternalAccessAnalysisRule	235
内容	235
以下の資料も参照してください。	235
InternalAccessAnalysisRuleCriteria	236
内容	236
以下の資料も参照してください。	237
InternalAccessConfiguration	238
内容	238
以下の資料も参照してください。	238
InternalAccessDetails	239
内容	239
以下の資料も参照してください。	241
InternalAccessFindingsStatistics	242
内容	242
以下の資料も参照してください。	243
InternalAccessResourceTypeDetails	244
内容	244
以下の資料も参照してください。	244
InternetConfiguration	245
内容	245

以下の資料も参照してください。	245
JobDetails	246
内容	246
以下の資料も参照してください。	247
JobError	248
内容	248
以下の資料も参照してください。	248
KmsGrantConfiguration	249
内容	249
以下の資料も参照してください。	250
KmsGrantConstraints	251
内容	251
以下の資料も参照してください。	251
KmsKeyConfiguration	252
内容	252
以下の資料も参照してください。	252
Location	254
内容	254
以下の資料も参照してください。	254
NetworkOriginConfiguration	255
内容	255
以下の資料も参照してください。	255
PathElement	257
内容	257
以下の資料も参照してください。	258
PolicyGeneration	259
内容	259
以下の資料も参照してください。	260
PolicyGenerationDetails	261
内容	261
以下の資料も参照してください。	261
Position	262
内容	262
以下の資料も参照してください。	262
RdsDbClusterSnapshotAttributeValue	263
内容	263

以下の資料も参照してください。	263
RdsDbClusterSnapshotConfiguration	265
内容	265
以下の資料も参照してください。	265
RdsDbSnapshotAttributeValue	267
内容	267
以下の資料も参照してください。	267
RdsDbSnapshotConfiguration	269
内容	269
以下の資料も参照してください。	269
ReasonSummary	271
内容	271
以下の資料も参照してください。	271
RecommendationError	272
内容	272
以下の資料も参照してください。	272
RecommendedStep	273
内容	273
以下の資料も参照してください。	273
ResourceTypeDetails	274
内容	274
以下の資料も参照してください。	274
S3AccessPointConfiguration	275
内容	275
以下の資料も参照してください。	276
S3BucketAclGrantConfiguration	277
内容	277
以下の資料も参照してください。	277
S3BucketConfiguration	278
内容	278
以下の資料も参照してください。	279
S3ExpressDirectoryAccessPointConfiguration	280
内容	280
以下の資料も参照してください。	280
S3ExpressDirectoryBucketConfiguration	282
内容	282

以下の資料も参照してください。	282
S3PublicAccessBlockConfiguration	284
内容	284
以下の資料も参照してください。	284
SecretsManagerSecretConfiguration	285
内容	285
以下の資料も参照してください。	285
SnsTopicConfiguration	287
内容	287
以下の資料も参照してください。	287
SortCriteria	288
内容	288
以下の資料も参照してください。	288
Span	289
内容	289
以下の資料も参照してください。	289
SqsQueueConfiguration	290
内容	290
以下の資料も参照してください。	290
StatusReason	291
内容	291
以下の資料も参照してください。	291
Substring	292
内容	292
以下の資料も参照してください。	292
Trail	293
内容	293
以下の資料も参照してください。	293
TrailProperties	295
内容	295
以下の資料も参照してください。	295
UnusedAccessConfiguration	297
内容	297
以下の資料も参照してください。	297
UnusedAccessFindingsStatistics	298
内容	298

以下の資料も参照してください。	299
UnusedAccessTypeStatistics	300
内容	300
以下の資料も参照してください。	300
UnusedAction	301
内容	301
以下の資料も参照してください。	301
UnusedIamRoleDetails	302
内容	302
以下の資料も参照してください。	302
UnusedIamUserAccessKeyDetails	303
内容	303
以下の資料も参照してください。	303
UnusedIamUserPasswordDetails	304
内容	304
以下の資料も参照してください。	304
UnusedPermissionDetails	305
内容	305
以下の資料も参照してください。	305
UnusedPermissionsRecommendedStep	307
内容	307
以下の資料も参照してください。	308
ValidatePolicyFinding	309
内容	309
以下の資料も参照してください。	310
ValidationExceptionField	311
内容	311
以下の資料も参照してください。	311
VpcConfiguration	312
内容	312
以下の資料も参照してください。	312
共通パラメータ	313
一般的なエラータイプ	316
.....	cccix

Welcome

AWS Identity and Access Management Access Analyzer は、一連の機能を提供することで、IAM ポリシーを設定、検証、および絞り込むのに役立ちます。その機能には、外部、内部、未使用のアクセスの検出結果、ポリシーを検証するための基本ポリシーチェックとカスタムポリシーチェック、きめ細かなポリシーを生成するためのポリシー生成が含まれます。IAM Access Analyzer を使用して外部、内部、または未使用のアクセスを特定するには、まずアナライザーを作成する必要があります。

外部アクセスアナライザーは、外部プリンシパルへのアクセスを許可するリソースポリシーを識別できるようにすることで、リソースにアクセスする潜在的なリスクを特定するのに役立ちます。これを行うには、ロジックベースの推論を使用して AWS 環境内のリソースベースのポリシーを分析します。外部プリンシパルは、別の AWS アカウント、ルートユーザー、IAM ユーザーまたはロール、フェデレーテッドユーザー、AWS サービス、または匿名ユーザーです。IAM Access Analyzer を使用して、アクセス許可の変更をデプロイする前に、リソースへのパブリックアクセスとクロスアカウントアクセスをプレビューすることもできます。

内部アクセスアナライザーは、組織またはアカウント内のどのプリンシパルが選択したリソースにアクセスできるかを特定するのに役立ちます。この分析では、組織内の意図したプリンシパルのみが指定したリソースにアクセスできるようにすることで、最小特権の原則を実装できます。

未使用のアクセスアナライザーは、未使用の IAM ロール、未使用のアクセスキー、未使用のコンソールパスワード、未使用のサービスおよびアクションレベルのアクセス許可を持つ IAM プリンシパルを識別できるようにすることで、潜在的な ID アクセスリスクを特定するのに役立ちます。

検出結果以外にも、IAM Access Analyzer は、アクセス許可の変更をデプロイする前に IAM ポリシーを検証するための基本ポリシーチェックとカスタムポリシーチェックを提供します。CloudTrail ログに記録されたアクセスアクティビティを使用して生成されたポリシーをアタッチすることで、ポリシー生成を使用してアクセス許可を絞り込むことができます。

このガイドでは、プログラムで呼び出すことができる IAM Access Analyzer オペレーションについて説明します。IAM Access Analyzer の一般的な情報については、IAM ユーザーガイドの「[の使用 AWS Identity and Access Management Access Analyzer](#)」を参照してください。

このドキュメントは、2026 年 4 月 5 日に最後に公開されました。

アクション

以下のアクションがサポートされています:

- [ApplyArchiveRule](#)
- [CancelPolicyGeneration](#)
- [CheckAccessNotGranted](#)
- [CheckNoNewAccess](#)
- [CheckNoPublicAccess](#)
- [CreateAccessPreview](#)
- [CreateAnalyzer](#)
- [CreateArchiveRule](#)
- [DeleteAnalyzer](#)
- [DeleteArchiveRule](#)
- [GenerateFindingRecommendation](#)
- [GetAccessPreview](#)
- [GetAnalyzedResource](#)
- [GetAnalyzer](#)
- [GetArchiveRule](#)
- [GetFinding](#)
- [GetFindingRecommendation](#)
- [GetFindingsStatistics](#)
- [GetFindingV2](#)
- [GetGeneratedPolicy](#)
- [ListAccessPreviewFindings](#)
- [ListAccessPreviews](#)
- [ListAnalyzedResources](#)
- [ListAnalyzers](#)
- [ListArchiveRules](#)
- [ListFindings](#)
- [ListFindingsV2](#)

- [ListPolicyGenerations](#)
- [ListTagsForResource](#)
- [StartPolicyGeneration](#)
- [StartResourceScan](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)
- [UpdateAnalyzer](#)
- [UpdateArchiveRule](#)
- [UpdateFindings](#)
- [ValidatePolicy](#)

ApplyArchiveRule

アーカイブ規則の基準を満たす既存の検出結果にアーカイブ規則を遡及的に適用します。

リクエストの構文

```
PUT /archive-rule HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "ruleName": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

アナライザーの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[clientToken](#)

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[ruleName](#)

適用する規則の名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)

- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CancelPolicyGeneration

リクエストされたポリシー生成をキャンセルします。

リクエストの構文

```
PUT /policy/generation/jobId HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[jobId](#)

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる。で を使用して生成されたポリシーを取得するかGetGeneratedPolicy、 CancelPolicyGenerationで を使用してポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CheckAccessNotGranted

指定されたアクセスがポリシーによって許可されていないかどうかを確認します。

リクエストの構文

```
POST /policy/check-access-not-granted HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "access": [
    {
      "actions": [ "string" ],
      "resources": [ "string" ]
    }
  ],
  "policyDocument": "string",
  "policyType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[access](#)

指定されたポリシーによって付与されるべきではないアクセス許可を含むアクセスオブジェクト。アクションのみが指定されている場合、IAM Access Analyzer は、ポリシー内の任意のリソースに対して少なくとも 1 つのアクションを実行するためのアクセスをチェックします。リソースのみが指定されている場合、IAM Access Analyzer はアクセスをチェックして、少なくとも 1 つのリソースに対してアクションを実行します。アクションとリソースの両方が指定されている場合、IAM Access Analyzer は、指定されたリソースの少なくとも 1 つに対して指定されたアクションの少なくとも 1 つを実行するアクセスをチェックします。

型: [Access](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 1 項目です。

必須: はい

[policyDocument](#)

ポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

タイプ: 文字列

必須: はい

[policyType](#)

ポリシーのタイプ。ID ポリシーは、IAM プリンシパルにアクセス許可を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス許可を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。

型: 文字列

有効な値: IDENTITY_POLICY | RESOURCE_POLICY

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

message

指定されたアクセスが許可されているかどうかを示すメッセージ。

タイプ: 文字列

reasons

結果の推論の説明。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

result

アクセスが許可されているかどうかをチェックした結果。結果が `PASS` の場合、指定されたポリシーはアクセスオブジェクトで指定されたアクセス許可を許可しません。結果が `FAIL` の場合、指定されたポリシーはアクセスオブジェクトのアクセス許可の一部またはすべてを許可する場合があります。

型: 文字列

有効な値 : `PASS` | `FAIL`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidParameterException

指定されたパラメータが無効です。

HTTP ステータスコード: 400

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

UnprocessableEntityException

指定されたエンティティを処理できませんでした。

HTTP ステータスコード: 422

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CheckNoNewAccess

既存のポリシーと比較して、更新されたポリシーに新しいアクセスが許可されているかどうかを確認します。

GitHub の「[IAM Access Analyzer custom policy checks samples](#)」リポジトリで、参照ポリシーの例を入手し、新しいアクセス用のカスタムポリシーチェックをセットアップして実行する方法を学習できます。このリポジトリの参照ポリシーは、existingPolicyDocument リクエストパラメータに渡されることを目的としています。

リクエストの構文

```
POST /policy/check-no-new-access HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "existingPolicyDocument": "string",
  "newPolicyDocument": "string",
  "policyType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

existingPolicyDocument

既存のポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

タイプ: 文字列

必須: はい

newPolicyDocument

更新されたポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

タイプ: 文字列

必須: はい

[policyType](#)

比較するポリシーのタイプ。ID ポリシーは、IAM プリンシパルにアクセス許可を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス許可を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの汎用入力、または 管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

型: 文字列

有効な値 : IDENTITY_POLICY | RESOURCE_POLICY

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[message](#)

更新されたポリシーが新しいアクセスを許可するかどうかを示すメッセージ。

タイプ: 文字列

[reasons](#)

結果の推論の説明。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

[result](#)

新しいアクセスのチェックの結果。結果が `PASS` の場合、更新されたポリシーでは新しいアクセスは許可されません。結果が `FAIL` の場合、更新されたポリシーは新しいアクセスを許可する場合があります。

型: 文字列

有効な値 : `PASS` | `FAIL`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

`retryAfterSeconds`

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidParameterException

指定されたパラメータが無効です。

HTTP ステータスコード: 400

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

UnprocessableEntityException

指定されたエンティティを処理できませんでした。

HTTP ステータスコード: 422

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)

- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CheckNoPublicAccess

リソースポリシーが、指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスを許可できるかどうかをチェックします。

リクエストの構文

```
POST /policy/check-no-public-access HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "policyDocument": "string",
  "resourceType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

policyDocument

パブリックアクセスを評価する JSON ポリシードキュメント。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

パブリックアクセスを評価するリソースのタイプ。例えば、Amazon S3 バケットへのパブリックアクセスを確認するには、リソースタイプ `AWS::S3::Bucket` に選択できます。

有効な値としてサポートされていないリソースタイプの場合、IAM Access Analyzer はエラーを返します。

型: 文字列

有効な値 : `AWS::DynamoDB::Table` | `AWS::DynamoDB::Stream` |
`AWS::EFS::FileSystem` | `AWS::OpenSearchService::Domain` |

AWS::Kinesis::Stream | AWS::Kinesis::StreamConsumer | AWS::KMS::Key
| AWS::Lambda::Function | AWS::S3::Bucket | AWS::S3::AccessPoint
| AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::S3::Glacier |
AWS::S3Outposts::Bucket | AWS::S3Outposts::AccessPoint |
AWS::SecretsManager::Secret | AWS::SNS::Topic | AWS::SQS::Queue
| AWS::IAM::AssumeRolePolicyDocument | AWS::S3Tables::TableBucket
| AWS::ApiGateway::RestApi | AWS::CodeArtifact::Domain |
AWS::Backup::BackupVault | AWS::CloudTrail::Dashboard |
AWS::CloudTrail::EventDataStore | AWS::S3Tables::Table |
AWS::S3Express::AccessPoint

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

message

指定されたポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可するかどうかを示すメッセージ。

タイプ: 文字列

reasons

指定されたリソースポリシーがリソースタイプのパブリックアクセスを許可する理由のリスト。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

result

指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスをチェックした結果。結果が `PASS` の場合、ポリシーは指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスを許可しません。結果が `FAIL` の場合、ポリシーは指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスを許可する場合があります。

型: 文字列

有効な値 : `PASS` | `FAIL`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

`retryAfterSeconds`

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidParameterException

指定されたパラメータが無効です。

HTTP ステータスコード: 400

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

UnprocessableEntityException

指定されたエンティティを処理できませんでした。

HTTP ステータスコード: 422

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)

- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateAccessPreview

リソースのアクセス許可をデプロイする前に、リソースの IAM Access Analyzer の検出結果をプレビューできるアクセスプレビューを作成します。

リクエストの構文

```
PUT /access-preview HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "configurations": {
    "string" : { ... }
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

アクセスプレビューの生成に使用される [アカウントアナライザーの ARN](#)。Account タイプと Active ステータスを持つアナライザーのアクセスプレビューのみを作成できます。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[clientToken](#)

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[configurations](#)

アクセスプレビューの生成に使用されるリソースのアクセスコントロール設定。アクセスプレビューには、提案されたアクセスコントロール設定でリソースに許可された外部アクセスの検出結果が含まれます。設定には 1 つの要素のみを含める必要があります。

タイプ: [Configuration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "id": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[id](#)

アクセスプレビューの一意の ID。

タイプ: 文字列

パターン: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ServiceQuotaExceededException

サービス引用符の一致エラー。

resourceId

リソース ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateAnalyzer

アカウントのアナライザーを作成します。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerName": "string",
  "archiveRules": [
    {
      "filter": {
        "string": {
          "contains": [ "string" ],
          "eq": [ "string" ],
          "exists": boolean,
          "neq": [ "string" ]
        }
      },
      "ruleName": "string"
    }
  ],
  "clientToken": "string",
  "configuration": { ... },
  "tags": {
    "string": "string"
  },
  "type": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerName

作成するアナライザーの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

archiveRules

アナライザー用に追加するアーカイブルールを指定します。アーカイブルールは、ルールに定義した基準を満たす検出結果を自動的にアーカイブします。

タイプ: [InlineArchiveRule](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

configuration

アナライザーの設定を指定します。アナライザーが未使用のアクセスアナライザーの場合、指定された未使用のアクセス範囲が設定に使用されます。アナライザーが内部アクセスアナライザーの場合、指定された内部アクセス分析ルールが設定に使用されます。

型: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

tags

アナライザーに適用するキーと値のペアの配列。Unicode 文字、数字、空白、`_`、`.`、`/=+、`、および `-` のセットを使用できます。

タグキーでは、長さが 1~128 文字の値を指定でき、のプレフィックスを付けることはできませんaws:。

タグ値には、0~256 文字の長さの値を指定できます。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

[type](#)

作成するアナライザーのタイプ。リージョンごとにアカウントごとに作成できるアナライザーは 1 つだけです。リージョンごとに、組織ごとに最大 5 つのアナライザーを作成できます。

型: 文字列

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT_UNUSED_ACCESS
| ORGANIZATION_UNUSED_ACCESS | ACCOUNT_INTERNAL_ACCESS |
ORGANIZATION_INTERNAL_ACCESS

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "arn": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[arn](#)

リクエストによって作成されたアナライザーの ARN。

タイプ: 文字列

パターン: `[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ServiceQuotaExceededException

サービス引用符の一致エラー。

resourceId

リソース ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateArchiveRule

指定されたアナライザーのアーカイブルールを作成します。アーカイブルールは、ルールの作成時に定義した基準を満たす新しい結果を自動的にアーカイブします。

アーカイブルールの作成に使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer フィルターキー](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName/archive-rule HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "clientToken": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "ruleName": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

作成されたアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

filter

ルールの基準。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

作成するルールの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ServiceQuotaExceededException

サービス引用符の一致エラー。

resourceId

リソース ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)

- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteAnalyzer

指定されたアナライザーを削除します。アナライザーを削除すると、現在または特定のリージョンのアカウントまたは組織に対して IAM Access Analyzer が無効になります。アナライザーによって生成された検出結果はすべて削除されます。このアクションは元に戻すことができません。

リクエストの構文

```
DELETE /analyzer/analyzerName?clientToken=clientToken HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

削除するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

clientToken

クライアントトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteArchiveRule

指定されたアーカイブルールを削除します。

リクエストの構文

```
DELETE /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName?clientToken=clientToken HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

削除するアーカイブルールに関連付けられたアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

clientToken

クライアントトークン。

ruleName

削除するルールの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GenerateFindingRecommendation

未使用のアクセス許可の検出結果に関する推奨事項を作成します。

リクエストの構文

```
POST /recommendation/id?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerArn

結果レコメンデーションの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

パターン: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

id

結果レコメンデーションの一意の ID。

長さの制限: 最小長 1、最大長は 2,048 です。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetAccessPreview

指定されたアナライザーのアクセスプレビューに関する情報を取得します。

リクエストの構文

```
GET /access-preview/accessPreviewId?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

accessPreviewId

アクセスプレビューの一意の ID。

パターン: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

必須: はい

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

パターン: [^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "accessPreview": {
    "analyzerArn": "string",
```

```
  "configurations": {
    "string" : { ... }
  },
  "createdAt": "string",
  "id": "string",
  "status": "string",
  "statusReason": {
    "code": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[accessPreview](#)

アクセスプレビューに関する情報を含むオブジェクト。

型: [AccessPreview](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetAnalyzedResource

分析されたリソースに関する情報を取得します。

Note

このアクションは、外部アクセスアナライザーでのみサポートされます。

リクエストの構文

```
GET /analyzed-resource?analyzerArn=analyzerArn&resourceArn=resourceArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerArn

情報を取得する アナライザーの ARN。

パターン: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

resourceArn

情報を取得するリソースの ARN。

パターン: `arn:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:.*`

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "resource": {
    "actions": [ "string" ],
    "analyzedAt": "string",
    "createdAt": "string",
    "error": "string",
    "isPublic": boolean,
    "resourceArn": "string",
    "resourceOwnerAccount": "string",
    "resourceType": "string",
    "sharedVia": [ "string" ],
    "status": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

resource

リソースの分析時に IAM Access Analyzer が検出した情報を含む `AnalyzedResource` オブジェクト。

型: [AnalyzedResource](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetAnalyzer

指定されたアナライザーに関する情報を取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

取得したアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzer": {
    "arn": "string",
    "configuration": { ... },
    "createdAt": "string",
    "lastResourceAnalyzed": "string",
    "lastResourceAnalyzedAt": "string",
    "name": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
```

```
    "code": "string"  
  },  
  "tags": {  
    "string": "string"  
  },  
  "type": "string"  
}  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[analyzer](#)

アナライザーに関する情報を含む AnalyzerSummary オブジェクト。

型: [AnalyzerSummary](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetArchiveRule

アーカイブルールに関する情報を取得します。

アーカイブルールの作成に使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer フィルターキー](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

ルールを取得するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_-.]*

必須: はい

ruleName

取得するルールの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_-.]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json
```

```
{
  "archiveRule": {
    "createdAt": "string",
    "filter": {
      "string": {
        "contains": [ "string" ],
        "eq": [ "string" ],
        "exists": boolean,
        "neq": [ "string" ]
      }
    },
    "ruleName": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

archiveRule

アーカイブルールに関する情報が含まれます。アーカイブルールは、ルールの作成時に定義した基準を満たす新しい結果を自動的にアーカイブします。

型: [ArchiveRuleSummary](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetFinding

指定された検出結果に関する情報を取得します。GetFinding と GetFindingV2 はどちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:GetFinding` を使用します。 `access-analyzer:GetFinding` アクションを実行するには、アクセス許可が必要です。

Note

GetFinding は、外部アクセスアナライザーでのみサポートされています。内部アクセスアナライザーと未使用のアクセスアナライザーには GetFindingV2 を使用する必要があります。

リクエストの構文

```
GET /finding/id?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerArn

検出結果を生成した [アナライザーの ARN](#)。

パターン: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

id

取得する結果の ID。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

Content-type: application/json

```
{
  "finding": {
    "action": [ "string" ],
    "analyzedAt": "string",
    "condition": {
      "string" : "string"
    },
    "createdAt": "string",
    "error": "string",
    "id": "string",
    "isPublic": boolean,
    "principal": {
      "string" : "string"
    },
    "resource": "string",
    "resourceControlPolicyRestriction": "string",
    "resourceOwnerAccount": "string",
    "resourceType": "string",
    "sources": [
      {
        "detail": {
          "accessPointAccount": "string",
          "accessPointArn": "string"
        },
        "type": "string"
      }
    ],
    "status": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[finding](#)

検出結果の詳細を含む finding オブジェクト。

型: [Finding](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetFindingRecommendation

指定されたアナライザーの検出結果のレコメンデーションに関する情報を取得します。

リクエストの構文

```
GET /recommendation/id?  
analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[analyzerArn](#)

結果レコメンデーションの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

パターン: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[id](#)

結果レコメンデーションの一意的 ID。

長さの制限: 最小長 1、最大長は 2,048 です。

必須: はい

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

有効な範囲: 最小値は 1 です。最大値は 1000 です。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "completedAt": "string",
  "error": {
    "code": "string",
    "message": "string"
  },
  "nextToken": "string",
  "recommendationType": "string",
  "recommendedSteps": [
    { ... }
  ],
  "resourceArn": "string",
  "startedAt": "string",
  "status": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

completedAt

結果レコメンデーションの取得が完了した時刻。

タイプ: タイムスタンプ

error

結果のレコメンデーションの取得が失敗した理由に関する詳細情報。

型: [RecommendationError](#) オブジェクト

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

recommendationType

結果のレコメンデーションのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : UnusedPermissionRecommendation

recommendedSteps

検出結果に推奨されるステップのグループ。

型: [RecommendedStep](#) オブジェクトの配列

resourceArn

検出結果のリソースの ARN。

タイプ: 文字列

パターン: arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*

startedAt

結果レコメンデーションの取得が開始された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

status

結果レコメンデーションの取得のステータス。

型: 文字列

有効な値 : SUCCEEDED | FAILED | IN_PROGRESS

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetFindingsStatistics

外部アクセスまたは未使用のアクセスアナライザーの集計結果統計のリストを取得します。

リクエストの構文

```
POST /analyzer/findings/statistics HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

統計の生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "findingsStatistics": [
    { ... }
  ],
}
```

```
"lastUpdatedAt": "string"  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[findingsStatistics](#)

外部アクセスまたは未使用のアクセス検出結果統計のグループ。

型: [FindingsStatistics](#) オブジェクトの配列

[lastUpdatedAt](#)

結果統計の取得が最後に更新された時刻。指定したアナライザーの検出結果統計が以前に取得されていない場合、このフィールドは入力されません。

タイプ: タイムスタンプ

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetFindingV2

指定された検出結果に関する情報を取得します。GetFinding と GetFindingV2 はどちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:GetFinding` で使用します。 `access-analyzer:GetFinding` アクションを実行するには、アクセス許可が必要です。

リクエストの構文

```
GET /findingv2/id?analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[analyzerArn](#)

検出結果を生成した [アナライザーの ARN](#)。

パターン: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[id](#)

取得する結果の ID。

必須: はい

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzedAt": "string",
  "createdAt": "string",
  "error": "string",
  "findingDetails": [
    { ... }
  ],
  "findingType": "string",
  "id": "string",
  "nextToken": "string",
  "resource": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string",
  "resourceType": "string",
  "status": "string",
  "updatedAt": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[analyzedAt](#)

検出結果を生成したリソースベースのポリシーまたは IAM エンティティが分析された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

[createdAt](#)

検出結果が作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

[error](#)

エラー。

タイプ: 文字列

[findingDetails](#)

検出結果について説明し、それに対処する方法についてのガイダンスを提供するローカライズされたメッセージ。

型: [FindingDetails](#) オブジェクトの配列

[findingType](#)

結果のタイプ。外部アクセスアナライザーの場合、タイプは `ExternalAccess` です。未使用のアクセスアナライザーの場合、タイプは `UnusedIAMRole`、`UnusedIAMUserAccessKey`、`UnusedIAMUserPassword`、または `UnusedPermission` です。内部アクセスアナライザーの場合、タイプは `InternalAccess` です。

型: 文字列

有効な値: `ExternalAccess` | `UnusedIAMRole` | `UnusedIAMUserAccessKey` | `UnusedIAMUserPassword` | `UnusedPermission` | `InternalAccess`

[id](#)

取得する結果の ID。

タイプ: 文字列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

[resource](#)

検出結果を生成したリソース。

タイプ: 文字列

[resourceOwnerAccount](#)

リソースを所有する Tye AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

resourceType

検出結果で識別されるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

updatedAt

検出結果が更新された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GetGeneratedPolicy

を使用して生成されたポリシーを取得しますStartPolicyGeneration。

リクエストの構文

```
GET /policy/generation/jobId?  
includeResourcePlaceholders=includeResourcePlaceholders&includeServiceLevelTemplate=includeServiceLevelTemplate  
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[includeResourcePlaceholders](#)

生成する詳細レベル。ポリシーでリソースレベルの粒度をサポートするアクションのリソース ARNs のプレースホルダーを使用してポリシーを生成するかどうかを指定できます。

たとえば、ポリシーのリソースセクションで、"Resource": "arn:aws:s3::: \${BucketName}" の代わりに `*/*` のプレースホルダーを受け取ることができます。"

[includeServiceLevelTemplate](#)

生成する詳細レベル。サービスレベルのポリシーを生成するかどうかを指定できます。

IAM Access Analyzer は を使用して `iam:serviceleastaccessed`、このサービスレベルテンプレートの作成に最近使用されたサービスを識別します。

[jobId](#)

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる 。 を使用して生成されたポリシーを取得するかGetGeneratedPolicy、 CancelPolicyGenerationで を使用してポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "generatedPolicyResult": {
    "generatedPolicies": [
      {
        "policy": "string"
      }
    ],
    "properties": {
      "cloudTrailProperties": {
        "endTime": "string",
        "startTime": "string",
        "trailProperties": [
          {
            "allRegions": boolean,
            "cloudTrailArn": "string",
            "regions": [ "string" ]
          }
        ]
      },
      "isComplete": boolean,
      "principalArn": "string"
    }
  },
  "jobDetails": {
    "completedOn": "string",
    "jobError": {
      "code": "string",
      "message": "string"
    },
    "jobId": "string",
    "startedOn": "string",
    "status": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[generatedPolicyResult](#)

生成されたポリシーと関連する詳細を含むGeneratedPolicyResultオブジェクト。

型: [GeneratedPolicyResult](#) オブジェクト

[jobDetails](#)

生成されたポリシーの詳細を含むGeneratedPolicyDetailsオブジェクト。

型: [JobDetails](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAccessPreviewFindings

指定されたアクセスプレビューによって生成されたアクセスプレビューの検出結果のリストを取得します。

リクエストの構文

```
POST /access-preview/accessPreviewId HTTP/1.1
```

```
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string": {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

accessPreviewId

アクセスプレビューの一意的 ID。

パターン: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

アクセスの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

タイプ: 文字列

Pattern: `[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

filter

返された結果をフィルタリングする条件。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

maxResults

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "findings": [
    {
      "action": [ "string ],
```

```
    "changeType": "string",
    "condition": {
      "string": "string"
    },
    "createdAt": "string",
    "error": "string",
    "existingFindingId": "string",
    "existingFindingStatus": "string",
    "id": "string",
    "isPublic": boolean,
    "principal": {
      "string": "string"
    },
    "resource": "string",
    "resourceControlPolicyRestriction": "string",
    "resourceOwnerAccount": "string",
    "resourceType": "string",
    "sources": [
      {
        "detail": {
          "accessPointAccount": "string",
          "accessPointArn": "string"
        },
        "type": "string"
      }
    ],
    "status": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[findings](#)

指定されたフィルター条件に一致するアクセスプレビューの検出結果のリスト。

型: [AccessPreviewFinding](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)

- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAccessPreviews

指定されたアナライザーのアクセスプレビューのリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /access-preview?analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用される [アナライザーの ARN](#)。

パターン: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

maxResults

レスポンスで返される結果の最大数。

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "accessPreviews": [
    {
```

```
    "analyzerArn": "string",
    "createdAt": "string",
    "id": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
      "code": "string"
    }
  },
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

accessPreviews

アナライザー用に取得されたアクセスプレビューのリスト。

型: [AccessPreviewSummary](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAnalyzedResources

指定されたアナライザーによって分析された、指定されたタイプのリソースのリストを取得します。

リクエストの構文

```
POST /analyzed-resource HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "resourceType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

分析されたリソースのリストを取得する [アナライザーの ARN](#)。

タイプ: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

maxResults

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

resourceType

リソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須 : いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzedResources": [
    {
      "resourceArn": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

analyzedResources

分析されたリソースのリスト。

型: [AnalyzedResourceSummary](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAnalyzers

アナライザーのリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzer?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&type=type HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

[type](#)

アナライザーのタイプ。

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT_UNUSED_ACCESS
| ORGANIZATION_UNUSED_ACCESS | ACCOUNT_INTERNAL_ACCESS |
ORGANIZATION_INTERNAL_ACCESS

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzers": [
    {
      "arn": "string",
```

```
    "configuration": { ... },
    "createdAt": "string",
    "lastResourceAnalyzed": "string",
    "lastResourceAnalyzedAt": "string",
    "name": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
      "code": "string"
    },
    "tags": {
      "string" : "string"
    },
    "type": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[analyzers](#)

取得されたアナライザー。

型: [AnalyzerSummary](#) オブジェクトの配列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListArchiveRules

指定されたアナライザー用に作成されたアーカイブ規則のリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName/archive-rule?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

ルールを取得するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

maxResults

リクエストで返される結果の最大数。

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
```

```
"archiveRules": [
  {
    "createdAt": "string",
    "filter": {
      "string": {
        "contains": [ "string" ],
        "eq": [ "string" ],
        "exists": boolean,
        "neq": [ "string" ]
      }
    },
    "ruleName": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

archiveRules

指定されたアナライザー用に作成されたアーカイブルールの一覧。

型: [ArchiveRuleSummary](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListFindings

指定されたアナライザーによって生成された結果のリストを取得します。ListFindings と ListFindingsV2 はどちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:ListFindings` で使用します。 `access-analyzer:ListFindings` アクションを実行するには、アクセス許可が必要です。

検出結果のリストを取得するために使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer フィルターキー](#)」を参照してください。

Note

ListFindings は、外部アクセスアナライザーでのみサポートされています。内部アクセスアナライザーと未使用のアクセスアナライザーには ListFindingsV2 を使用する必要がありません。

リクエストの構文

```
POST /finding HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string": {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "sort": {
    "attributeName": "string",
    "orderBy": "string"
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

検出結果を取得する [アナライザーの ARN](#)。

タイプ: 文字列

Pattern: `[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[filter](#)

返される結果に一致するフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[sort](#)

返された結果のソート順。

型: [SortCriteria](#) オブジェクト

必須: いいえ

レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

Content-type: application/json

```
{
  "findings": [
    {
      "action": [ "string" ],
      "analyzedAt": "string",
      "condition": {
        "string" : "string"
      },
      "createdAt": "string",
      "error": "string",
      "id": "string",
      "isPublic": boolean,
      "principal": {
        "string" : "string"
      },
      "resource": "string",
      "resourceControlPolicyRestriction": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string",
      "sources": [
        {
          "detail": {
            "accessPointAccount": "string",
            "accessPointArn": "string"
          },
          "type": "string"
        }
      ],
      "status": "string",
      "updatedAt": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[findings](#)

アナライザーから取得した、指定されたフィルター条件に一致する検出結果のリスト。

型: [FindingSummary](#) オブジェクトの配列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListFindingsV2

指定されたアナライザーによって生成された結果のリストを取得します。ListFindings と ListFindingsV2 はどちらも IAM ポリシーステートメントの Action 要素 `access-analyzer:ListFindings` で使用します。 `access-analyzer:ListFindings` アクションを実行するには、アクセス許可が必要です。

検出結果のリストを取得するために使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer フィルターキー](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
POST /findingv2 HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "sort": {
    "attributeName": "string",
    "orderBy": "string"
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[analyzerArn](#)

検出結果を取得する [アナライザーの ARN](#)。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

[filter](#)

返される結果に一致するフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[sort](#)

ソートに使用される条件。

型: [SortCriteria](#) オブジェクト

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "findings": [
    {
      "analyzedAt": "string",
      "createdAt": "string",
      "error": "string",
      "findingType": "string",
      "id": "string",
      "resource": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string",
      "status": "string",
      "updatedAt": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

findings

アナライザーから取得した、指定されたフィルター条件に一致する検出結果のリスト。

型: [FindingSummaryV2](#) オブジェクトの配列

nextToken

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListPolicyGenerations

過去 7 日間にリクエストされたすべてのポリシー生成を一覧表示します。

リクエストの構文

```
GET /policy/generation?  
maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&principalArn=principalArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

有効範囲: 最小値 1。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

[principalArn](#)

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。これを使用して ListGeneratedPolicies、特定のプリンシパルの結果のみを含めるように結果をフィルタリングします。

Pattern: arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json  
  
{
```

```
"nextToken": "string",
"policyGenerations": [
  {
    "completedOn": "string",
    "jobId": "string",
    "principalArn": "string",
    "startedOn": "string",
    "status": "string"
  }
]
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

[policyGenerations](#)

生成されたポリシーの詳細を含むPolicyGenerationオブジェクト。

型: [PolicyGeneration](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)

- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListTagsForResource

指定されたリソースに適用されたタグのリストを取得します。

リクエストの構文

```
GET /tags/resourceArn HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[resourceArn](#)

タグを取得するリソースの ARN。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

tags

指定されたリソースに適用されるタグ。

タイプ: 文字列間のマッピング

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

StartPolicyGeneration

ポリシー生成リクエストを開始します。

リクエストの構文

```
PUT /policy/generation HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "clientToken": "string",
  "cloudTrailDetails": {
    "accessRole": "string",
    "endTime": "string",
    "startTime": "string",
    "trails": [
      {
        "allRegions": boolean,
        "cloudTrailArn": "string",
        "regions": [ "string" ]
      }
    ]
  },
  "policyGenerationDetails": {
    "principalArn": "string"
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

clientToken

リクエストの冪等性のために割り当ててる一意の識別子 (大文字と小文字を区別)。べき等性は、API リクエストが必ず 1 回だけで完了するようにします。べき等性リクエストでは、元のリクエストが正常に完了すると、同じクライアントトークンで後続の再試行は元の成功したリクエストの結果を返し、追加の効果はありません。

クライアントトークンを指定しない場合、クライアントトークンは SDK によって自動的に生成されます AWS。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[cloudTrailDetails](#)

ポリシーを生成するために分析Trailする の詳細を含むCloudTrailDetailsオブジェクト。

型: [CloudTrailDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

[policyGenerationDetails](#)

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN が含まれます。

型: [PolicyGenerationDetails](#) オブジェクト

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "jobId": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[jobId](#)

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる 。で を使用して生成されたポリシーを取得するかGetGeneratedPolicy、 CancelPolicyGeneration で を使用してポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ServiceQuotaExceededException

サービス引用符の一致エラー。

resourceId

リソース ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

StartResourceScan

は、指定されたリソースに適用されるポリシーのスキャンをすぐに開始します。

Note

このアクションは、外部アクセスアナライザーでのみサポートされます。

リクエストの構文

```
POST /resource/scan HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "resourceArn": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

指定されたリソースに適用されるポリシーをスキャンするために使用する アナライザーの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:[\^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

resourceArn

スキャンするリソースの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。ほとんどの AWS リソースでは、所有アカウントはリソースが作成されたアカウントです。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

TagResource

指定されたリソースにタグを追加します。

リクエストの構文

```
POST /tags/resourceArn HTTP/1.1  
Content-type: application/json
```

```
{  
  "tags": {  
    "string" : "string"  
  }  
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

resourceArn

タグを追加するリソースの ARN。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

tags

リソースに追加するタグ。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UntagResource

指定されたリソースからタグを削除します。

リクエストの構文

```
DELETE /tags/resourceArn?tagKeys=tagKeys HTTP/1.1
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[resourceArn](#)

タグを削除するリソースの ARN。

必須: はい

[tagKeys](#)

追加するタグのキー。

必須: はい

リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateAnalyzer

既存のアナライザーの設定を変更します。

Note

このアクションは、外部アクセスアナライザーではサポートされていません。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "configuration": { ... }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

analyzerName

変更するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

configuration

AWS 組織またはアカウントのアナライザーの設定に関する情報が含まれます。

型: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "configuration": { ... }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[configuration](#)

AWS 組織またはアカウントのアナライザーの設定に関する情報が含まれます。

型: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

競合例外エラー。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースタイプ。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateArchiveRule

指定されたアーカイブ規則の基準と値を更新します。

リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "clientToken": "string",
  "filter": {
    "string": {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  }
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[analyzerName](#)

アーカイブ規則を更新するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

[ruleName](#)

更新する規則の名前。

長さの制限：最小長 1、最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*

必須: はい

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

filter

更新するルールに一致するフィルター。フィルターに一致するルールのみが更新されます。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateFindings

指定された検出結果のステータスを更新します。

リクエストの構文

```
PUT /finding HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "ids": [ "string" ],
  "resourceArn": "string",
  "status": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

analyzerArn

更新する検出結果を生成した アナライザーの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: [^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}

必須: はい

clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ids

更新する結果の IDs。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

resourceArn

検出結果で識別されたリソースの ARN。

タイプ: 文字列

パターン: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: いいえ

status

状態は、検出結果のステータスを更新するために実行するアクションを表します。ARCHIVE を使用して、アクティブな検出結果をアーカイブされた検出結果に変更します。アーカイブされた検出結果をアクティブな検出結果に変更ACTIVEするには、 を使用します。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED

必須: はい

レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

resourceId

リソースの ID。

resourceType

リソースのタイプ。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ValidatePolicy

ポリシーの検証をリクエストし、検出結果のリストを返します。検出結果は、問題を特定し、問題を解決するための実用的な推奨事項を提供し、セキュリティのベストプラクティスを満たす機能ポリシーを作成できるようにするのに役立ちます。

リクエストの構文

```
POST /policy/validation?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "locale": "string",
  "policyDocument": "string",
  "policyType": "string",
  "validatePolicyResourceType": "string"
}
```

URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

[maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[locale](#)

検出結果のローカライズに使用するロケール。

型: 文字列

有効な値 : DE | EN | ES | FR | IT | JA | KO | PT_BR | ZH_CN | ZH_TW

必須: いいえ

[policyDocument](#)

ポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

タイプ: 文字列

必須: はい

[policyType](#)

検証するポリシーのタイプ。ID ポリシーは、IAM プリンシパルにアクセス許可を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス許可を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの汎用入力、または 管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

サービスコントロールポリシー (SCPs) は、組織、組織単位 (OU)、またはアカウントにアタッチされた AWS 組織ポリシーの一種です。

型: 文字列

有効な値: IDENTITY_POLICY | RESOURCE_POLICY | SERVICE_CONTROL_POLICY | RESOURCE_CONTROL_POLICY

必須: はい

[validatePolicyResourceType](#)

リソースポリシーにアタッチするリソースのタイプ。ポリシータイプが の場合にのみ、ポリシー検証リソースタイプの値を指定します RESOURCE_POLICY。たとえば、Amazon S3 バケットにアタッチするリソースポリシーを検証するには、ポリシー検証リソースタイプ AWS::S3::Bucket に を選択できます。

有効な値としてサポートされていないリソースタイプの場合、IAM Access Analyzer はすべてのリソースポリシーに適用されるポリシーチェックを実行します。たとえば、KMS キーにアタッチするリソースポリシーを検証するには、ポリシー検証リソースタイプの値を指定しないでください。IAM Access Analyzer は、すべてのリソースポリシーに適用されるポリシーチェックを実行します。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::S3::AccessPoint |
AWS::S3::MultiRegionAccessPoint | AWS::S3ObjectLambda::AccessPoint |
AWS::IAM::AssumeRolePolicyDocument | AWS::DynamoDB::Table

必須 : いいえ

レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "findings": [
    {
      "findingDetails": "string",
      "findingType": "string",
      "issueCode": "string",
      "learnMoreLink": "string",
      "locations": [
        {
          "path": [
            { ... }
          ],
          "span": {
            "end": {
              "column": number,
              "line": number,
              "offset": number
            },
            "start": {
              "column": number,
              "line": number,
              "offset": number
            }
          }
        }
      ]
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[findings](#)

ポリシーチェックのスイートに基づいて IAM Access Analyzer によって返されるポリシー内の検出結果のリスト。

型: [ValidatePolicyFinding](#) オブジェクトの配列

[nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

タイプ: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[一般的なエラータイプ](#)」を参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

retryAfterSeconds

再試行を待機する秒数。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

fieldList

が検証しなかったフィールドのリスト。

reason

例外の理由。

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス V2](#)
- [AWS SDK for .NET V4](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for Kotlin](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

データ型

IAM Access Analyzer API には、さまざまなアクションが使用する複数のデータ型が含まれています。このセクションでは、各データ型について詳しく説明します。

Note

データ型構造内の各要素の順序は保証されません。アプリケーションは特定の順序を想定するべきではありません。

以下のデータ型 (タイプ) がサポートされています。

- [Access](#)
- [AccessPreview](#)
- [AccessPreviewFinding](#)
- [AccessPreviewStatusReason](#)
- [AccessPreviewSummary](#)
- [AclGrantee](#)
- [AnalysisRule](#)
- [AnalysisRuleCriteria](#)
- [AnalyzedResource](#)
- [AnalyzedResourceSummary](#)
- [AnalyzerConfiguration](#)
- [AnalyzerSummary](#)
- [ArchiveRuleSummary](#)
- [CloudTrailDetails](#)
- [CloudTrailProperties](#)
- [Configuration](#)
- [Criterion](#)
- [DynamodbStreamConfiguration](#)
- [DynamodbTableConfiguration](#)
- [EbsSnapshotConfiguration](#)

- [EcrRepositoryConfiguration](#)
- [EfsFileSystemConfiguration](#)
- [ExternalAccessDetails](#)
- [ExternalAccessFindingsStatistics](#)
- [Finding](#)
- [FindingAggregationAccountDetails](#)
- [FindingDetails](#)
- [FindingSource](#)
- [FindingSourceDetail](#)
- [FindingsStatistics](#)
- [FindingSummary](#)
- [FindingSummaryV2](#)
- [GeneratedPolicy](#)
- [GeneratedPolicyProperties](#)
- [GeneratedPolicyResult](#)
- [IamRoleConfiguration](#)
- [InlineArchiveRule](#)
- [InternalAccessAnalysisRule](#)
- [InternalAccessAnalysisRuleCriteria](#)
- [InternalAccessConfiguration](#)
- [InternalAccessDetails](#)
- [InternalAccessFindingsStatistics](#)
- [InternalAccessResourceTypeDetails](#)
- [InternetConfiguration](#)
- [JobDetails](#)
- [JobError](#)
- [KmsGrantConfiguration](#)
- [KmsGrantConstraints](#)
- [KmsKeyConfiguration](#)
- [Location](#)

- [NetworkOriginConfiguration](#)
- [PathElement](#)
- [PolicyGeneration](#)
- [PolicyGenerationDetails](#)
- [Position](#)
- [RdsDbClusterSnapshotAttributeValue](#)
- [RdsDbClusterSnapshotConfiguration](#)
- [RdsDbSnapshotAttributeValue](#)
- [RdsDbSnapshotConfiguration](#)
- [ReasonSummary](#)
- [RecommendationError](#)
- [RecommendedStep](#)
- [ResourceTypeDetails](#)
- [S3AccessPointConfiguration](#)
- [S3BucketAclGrantConfiguration](#)
- [S3BucketConfiguration](#)
- [S3ExpressDirectoryAccessPointConfiguration](#)
- [S3ExpressDirectoryBucketConfiguration](#)
- [S3PublicAccessBlockConfiguration](#)
- [SecretsManagerSecretConfiguration](#)
- [SnsTopicConfiguration](#)
- [SortCriteria](#)
- [Span](#)
- [SqsQueueConfiguration](#)
- [StatusReason](#)
- [Substring](#)
- [Trail](#)
- [TrailProperties](#)
- [UnusedAccessConfiguration](#)
- [UnusedAccessFindingsStatistics](#)

- [UnusedAccessTypeStatistics](#)
- [UnusedAction](#)
- [UnusedIamRoleDetails](#)
- [UnusedIamUserAccessKeyDetails](#)
- [UnusedIamUserPasswordDetails](#)
- [UnusedPermissionDetails](#)
- [UnusedPermissionsRecommendedStep](#)
- [ValidatePolicyFinding](#)
- [ValidationExceptionField](#)
- [VpcConfiguration](#)

Access

ポリシーに対してチェックするアクセス許可を定義するアクションとリソースに関する情報が含まれています。

内容

actions

アクセス許可のアクションのリスト。IAM ポリシーでアクションとして使用できる文字列は、チェックするアクションのリストで使用できます。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 100 項目です。

必須: いいえ

resources

アクセス許可のリソースのリスト。IAM ポリシーで Amazon リソースネーム (ARN) として使用できる文字列は、確認するリソースのリストで使用できます。リソース ID を指定する ARN の部分でのみワイルドカードを使用できます。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 100 項目です。

長さの制限: 最小長は 0 です。最大長は 2048 です。

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreview

アクセスプレビューに関する情報が含まれています。

内容

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されるアナライザーの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

configurations

提案されたリソース設定ARNs のマップ。

タイプ: [Configuration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

createdAt

アクセスプレビューが作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

id

アクセスプレビューの一意の ID。

タイプ: 文字列

パターン: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

必須: はい

status

アクセスプレビューのステータス。

- **Creating** - アクセプレビューの作成が進行中です。
- **Completed** - アクセプレビューが完了しました。リソースへの外部アクセスの検出結果をプレビューできます。
- **Failed** - アクセプレビューの作成に失敗しました。

型: 文字列

有効な値 : COMPLETED | CREATING | FAILED

必須: はい

statusReason

アクセプレビューの現在のステータスに関する詳細を提供します。

たとえば、アクセプレビューの作成が失敗すると、Failedステータスが返されます。この障害は、分析の内部問題または無効なリソース設定が原因である可能性があります。

型: [AccessPreviewStatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreviewFinding

アクセスプレビューによって生成されたアクセスプレビューの結果。

内容

changeType

アクセスプレビューの結果と IAM Access Analyzer で識別された既存のアクセスとの比較に関するコンテキストを提供します。

- New - 検出結果は、新しく導入されたアクセス用です。
- Unchanged - プレビュー検出結果は、変更されない既存の検出結果です。
- Changed - プレビュー検出結果は、ステータスが変更された既存の検出結果です。

たとえば、プレビューステータスResolvedと既存のステータスChangedの結果は、提案されたアクセス許可の変更Resolvedの結果として既存のActive結果になるActiveことを示します。

型: 文字列

有効な値 : CHANGED | NEW | UNCHANGED

必須: はい

createdAt

アクセスプレビューの結果が作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

id

アクセスプレビュー結果の ID。この ID は、アクセスプレビューの検出結果のリスト内の 要素を一意に識別し、Access Analyzer の検出結果 ID とは関係ありません。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。ほとんどの AWS リソースでは、所有アカウントはリソースが作成されたアカウントです。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

検出結果でアクセスできるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: はい

status

検出結果のプレビューステータス。これは、アクセス許可のデプロイ後の検出結果のステータスです。たとえば、プレビューステータスResolvedと既存のステータスChangedの結果は、提案されたアクセス許可の変更Resolvedの結果として既存のActive結果になるActiveことを示します。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

action

外部プリンシパルが実行するアクセス許可を持つ、分析されたポリシーステートメントのアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

condition

結果となった分析済みポリシーステートメントの条件。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

error

エラー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

existingFindingId

IAM Access Analyzer の結果の既存の ID。既存の結果に対してのみ提供されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

existingFindingStatus

既存の検出結果に対してのみ提供される、検出結果の既存のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須 : いいえ

isPublic

検出結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可するかどうかを示します。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

principal

信頼ゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。これはアクセスプレビューに関連付けられたリソースです。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

resourceControlPolicyRestriction

Organizations リソースコントロールポリシー (RCP) を使用してリソース所有者が検出結果に適用する制限のタイプ。

型: 文字列

有効な値 : APPLICABLE | FAILED_TO_EVALUATE_RCP | NOT_APPLICABLE | APPLIED

必須 : いいえ

sources

検出結果のソース。これは、検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

タイプ: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreviewStatusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細を提供します。例えば、アクセスプレビューの作成が失敗すると、Failedステータスが返されます。この失敗は、分析の内部問題または無効なリソース設定の提案が原因である可能性があります。

内容

code

アクセスプレビューの現在のステータスの理由コード。

型: 文字列

有効な値 : INTERNAL_ERROR | INVALID_CONFIGURATION

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AccessPreviewSummary

アクセスプレビューに関する情報の概要が含まれています。

内容

analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されるアナライザーの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

createdAt

アクセスプレビューが作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

id

アクセスプレビューの一意の ID。

タイプ: 文字列

パターン: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

必須: はい

status

アクセスプレビューのステータス。

- **Creating** - アクセスプレビューの作成が進行中です。
- **Completed** - アクセスプレビューが完了し、リソースへの外部アクセスの検出結果をプレビューします。
- **Failed** - アクセスプレビューの作成に失敗しました。

型: 文字列

有効な値 : COMPLETED | CREATING | FAILED

必須: はい

statusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細を提供します。たとえば、アクセスプレビューの作成が失敗すると、Failedステータスが返されます。この障害は、分析の内部問題または無効なリソース設定の提案が原因である可能性があります。

型: [AccessPreviewStatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AclGrantee

これらのタイプのいずれかを使用して、各被付与者を型と値のペアとして指定します。被付与者のタイプは 1 つだけ指定できます。詳細については、「[PutBucketAcl](#)」を参照してください。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

id

指定された値は、の正規ユーザー ID です AWS アカウント。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

uri

事前定義されたグループにアクセス許可を付与するために使用されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalysisRule

アナライザーの分析ルールに関する情報が含まれています。分析ルールは、ルールの作成時に定義した基準に基づいて、結果を生成するエンティティを決定します。

内容

exclusions

分析から除外する条件を含むアナライザーのルールのリスト。ルール基準を満たすエンティティは検出結果を生成しません。

タイプ: [AnalysisRuleCriteria](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalysisRuleCriteria

アナライザーの分析ルールの基準。基準によって、結果を生成するエンティティが決まります。

内容

accountIds

分析ルール基準に適用する AWS アカウント IDs のリスト。アカウントには、組織アナライザーの所有者アカウントを含めることはできません。アカウント IDs は、組織レベルのアナライザーの分析ルール基準にのみ適用できます。リストには 2,000 を超えるアカウント IDs を含めることはできません。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

resourceTags

リソースに一致するキーと値のペアの配列。Unicode 文字、数字、空白、`_`、`.`、`/=+`、および `!` のセットを使用できます。

タグキーでは、長さが 1~128 文字の値を指定でき、`aws:` のプレフィックスを付けることはできません。

タグ値には、0~256 文字の長さの値を指定できます。指定されたタグ値が 0 文字の場合、ルールは指定されたタグキーを持つすべてのプリンシパルに適用されます。

タイプ: 文字列マップへの文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzedResource

分析されたリソースに関する詳細が含まれます。

内容

analyzedAt

リソースが分析された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

createdAt

検出結果が作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

isPublic

検出結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可するかどうかを示します。

タイプ: ブール値

必須: はい

resourceArn

分析されたリソースの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

分析されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: はい

updatedAt

結果が更新された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

actions

検出結果を生成したポリシーによって使用するアクセス許可が外部プリンシパルに付与されるアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

error

エラーメッセージ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

sharedVia

検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。これは Amazon S3 バケツトの検出結果に対して入力されます。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

status

分析されたリソースから生成された結果の現在のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzedResourceSummary

分析されたリソースの ARN が含まれます。

内容

resourceArn

分析されたリソースの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

分析されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : `AWS::S3::Bucket` | `AWS::IAM::Role` | `AWS::SQS::Queue` |
`AWS::Lambda::Function` | `AWS::Lambda::LayerVersion` | `AWS::KMS::Key`
| `AWS::SecretsManager::Secret` | `AWS::EFS::FileSystem` |
`AWS::EC2::Snapshot` | `AWS::ECR::Repository` | `AWS::RDS::DBSnapshot`
| `AWS::RDS::DBClusterSnapshot` | `AWS::SNS::Topic` |
`AWS::S3Express::DirectoryBucket` | `AWS::DynamoDB::Table` |
`AWS::DynamoDB::Stream` | `AWS::IAM::User`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzerConfiguration

AWS 組織またはアカウントのアナライザーの設定に関する情報が含まれます。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

internalAccess

AWS 組織またはアカウントの内部アクセスアナライザーの設定を指定します。この設定により、アナライザーが環境内のアクセスを評価する方法が決まります AWS。

型: [InternalAccessConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedAccess

AWS 組織またはアカウントの未使用のアクセスアナライザーの設定を指定します。

型: [UnusedAccessConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AnalyzerSummary

アナライザーに関する情報が含まれます。

内容

arn

アナライザーの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

createdAt

アナライザーが作成された時刻のタイムスタンプ。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

name

アナライザーの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

status

アナライザーのステータス。Active アナライザーは、サポートされているリソースを正常にモニタリングし、新しい検出結果を生成します。アナライザーは、の信頼されたアクセスを AWS Identity and Access Management Access Analyzer から削除するなどのユーザーアクションにより AWS Organizations、アナライザーが新しい検出結果の生成を停止Disabledするときです。ステータスはCreating、アナライザーの作成が進行中であり、アナライザーの作成が失敗したFailedときです。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | CREATING | DISABLED | FAILED

必須: はい

type

タイプは、アナライザーの信頼ゾーンまたはスコープを表します。

型: 文字列

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT_UNUSED_ACCESS
| ORGANIZATION_UNUSED_ACCESS | ACCOUNT_INTERNAL_ACCESS |
ORGANIZATION_INTERNAL_ACCESS

必須: はい

configuration

アナライザーが外部アクセス、未使用のアクセス、または内部アクセスアナライザーのいずれであるかを指定します。[GetAnalyzer](#) アクションでは、設定が指定されている場合、レスポンスにこのプロパティが含まれますが、[ListAnalyzers](#) アクションでは省略されます。

型: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

lastResourceAnalyzed

アナライザーによって最後に分析されたリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

lastResourceAnalyzedAt

最後に分析されたリソースが分析された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

statusReason

statusReason は、アナライザーの現在のステータスに関する詳細を提供します。たとえば、アナライザーの作成が失敗すると、Failedステータスが返されます。組織をタイプとするアナライザーの場合、この障害は、組織のメンバーアカウント AWS に必要なサービスにリンクされたロールの作成に関する問題が原因である可能性があります。

型: [StatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

tags

アナライザーに適用されるキーと値のペアの配列。キーと値のペアは、Unicode 文字、数字、空白、_、.、/、=+、およびのセットで構成されます。

タグキーは 1~128 文字の長さの値であり、プレフィックスとしてを使用することはできませんaws:。

タグ値は、0~256 文字の長さの値です。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ArchiveRuleSummary

アーカイブルールに関する情報が含まれます。アーカイブルールは、ルールの作成時に定義した基準を満たす新しい結果を自動的にアーカイブします。

内容

createdAt

アーカイブルールが作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

filter

アーカイブルールを定義するために使用されるフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

アーカイブルールの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

updatedAt

アーカイブルールが最後に更新された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CloudTrailDetails

CloudTrail アクセスに関する情報が含まれています。

内容

accessRole

IAM Access Analyzer が CloudTrail 証跡とサービスの最終アクセス情報にアクセスするために使用するサービスロールの ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:role/.{1,576}`

必須: はい

startTime

IAM Access Analyzer が CloudTrail イベントを確認する時間範囲の開始。この時刻より前のタイムスタンプを持つイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

trails

証跡の設定を含むTrailオブジェクト。

型: [Trail](#) オブジェクトの配列

必須: はい

endTime

IAM Access Analyzer が CloudTrail イベントを確認する時間範囲の終了。この時間より後にタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。これがリクエストに含まれていない場合、デフォルト値は現在の時刻です。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CloudTrailProperties

CloudTrail アクセスに関する情報が含まれています。

内容

endTime

IAM Access Analyzer が CloudTrail イベントを確認する時間範囲の終了。この時間より後にタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。これがリクエストに含まれていない場合、デフォルト値は現在の時刻です。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

startTime

IAM Access Analyzer が CloudTrail イベントを確認する時間範囲の開始。この時刻より前のタイムスタンプを持つイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

trailProperties

証跡プロパティの設定を含むTrailPropertiesオブジェクト。

型: [TrailProperties](#) オブジェクトの配列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Configuration

リソースのアクセスコントロール設定構造。設定は、型と値のペアとして指定します。指定できるアクセスコントロール設定のタイプは 1 つだけです。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

dynamodbStream

アクセスコントロール設定は DynamoDB ストリーム用です。

型: [DynamodbStreamConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

dynamodbTable

アクセスコントロール設定は、DynamoDB テーブルまたはインデックス用です。

型: [DynamodbTableConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

ebsSnapshot

アクセスコントロール設定は、Amazon EBS ボリュームスナップショット用です。

型: [EbsSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

ecrRepository

アクセスコントロール設定は Amazon ECR リポジトリ用です。

型: [EcrRepositoryConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

efsFileSystem

アクセスコントロール設定は、Amazon EFS ファイルシステム用です。

型: [EfsFileSystemConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

iamRole

アクセスコントロール設定は IAM ロール用です。

型: [IamRoleConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

kmsKey

アクセスコントロール設定は KMS キー用です。

型: [KmsKeyConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

rdsDbClusterSnapshot

アクセスコントロール設定は、Amazon RDS DB クラスタースナップショット用です。

型: [RdsDbClusterSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

rdsDbSnapshot

アクセスコントロール設定は、Amazon RDS DB スナップショット用です。

型: [RdsDbSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

s3Bucket

アクセスコントロール設定は Amazon S3 バケット用です。

型: [S3BucketConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

s3ExpressDirectoryBucket

アクセスコントロール設定は、Amazon S3 ディレクトリバケット用です。

型: [S3ExpressDirectoryBucketConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

secretsManagerSecret

アクセスコントロール設定は Secrets Manager シークレット用です。

型: [SecretsManagerSecretConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

snsTopic

アクセスコントロール設定は Amazon SNS トピック用です

型: [SnsTopicConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

sqsQueue

アクセスコントロール設定は Amazon SQS キュー用です。

型: [SqsQueueConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Criterion

アーカイブルールを定義するフィルターで使用する基準。使用可能なフィルターキーの詳細については、[「IAM Access Analyzer フィルターキー」](#)を参照してください。

内容

contains

ルールの作成に使用されるフィルターに一致する「を含む」演算子。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

eq

ルールの作成に使用されるフィルターに一致する「等しい」演算子。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

exists

ルールの作成に使用されるフィルターに一致する「存在」演算子。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

neq

ルールの作成に使用されるフィルターに一致する「等しくない」演算子。

型: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DynamodbStreamConfiguration

DynamoDB ストリームの提案されたアクセスコントロール設定。DynamoDB ストリームのポリシーを指定することで、新しい DynamoDB ストリームまたは所有している既存の DynamoDB ストリームの設定を提案できます。詳細については、「[PutResourcePolicy](#)」を参照してください。

- 設定が既存の DynamoDB ストリーム用であり、DynamoDB ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはストリームの既存の DynamoDB ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーなしで DynamoDB ストリームを引き受けます。
- 既存の DynamoDB ストリームポリシーの削除を提案するには、DynamoDB ポリシーに空の文字列を指定できます。

内容

streamPolicy

DynamoDB ストリームにアクセスまたは管理できるユーザーを定義する提案されたリソースポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DynamodbTableConfiguration

DynamoDB テーブルまたはインデックスの提案されたアクセスコントロール設定。DynamoDB テーブルまたはインデックスのポリシーを指定することで、新しい DynamoDB テーブルまたはインデックス、または所有している既存の DynamoDB テーブルまたはインデックスの設定を提案できます。詳細については、「[PutResourcePolicy](#)」を参照してください。

- 設定が既存の DynamoDB テーブルまたはインデックス用であり、DynamoDB ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはテーブルまたはインデックスの既存の DynamoDB ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない DynamoDB テーブルを想定します。
- 既存の DynamoDB テーブルまたはインデックスポリシーの削除を提案するには、DynamoDB ポリシーに空の文字列を指定できます。

内容

tablePolicy

DynamoDB テーブルにアクセスまたは管理できるユーザーを定義する提案されたリソースポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EbsSnapshotConfiguration

Amazon EBS ボリュームスナップショットの提案されたアクセスコントロール設定。ユーザー IDs、グループ、およびオプションの AWS KMS 暗号化キーを指定することで、所有する新しい Amazon EBS ボリュームスナップショットまたは Amazon EBS ボリュームスナップショットの設定を提案できます。詳細については、「[ModifySnapshotAttribute](#)」を参照してください。

内容

groups

Amazon EBS ボリュームスナップショットにアクセスできるグループ。値allを指定すると、Amazon EBS ボリュームスナップショットはパブリックになります。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用であり、 を指定しない場合groups、アクセスプレビューはスナップショットgroupsに共有されている既存の を使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、 を指定しない場合groups、アクセスプレビューはスナップショットを なしと見なしますgroups。
- 既存の共有 の削除を提案するにはgroups、 に空のリストを指定できますgroups。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

kmsKeyId

暗号化された Amazon EBS ボリュームスナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用であり、 を指定しない場合kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、アクセスプレビューはスナップショットkmsKeyIdの既存の を使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、 を指定しない場合kmsKeyId、アクセスプレビューはスナップショットを暗号化されていないと見なします。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

userIds

Amazon EBS ボリュームスナップショット AWS アカウント にアクセスできる の IDs。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用であり、 を指定しない場合userIds、アクセスプレビューはスナップショットuserIdsに既存の共有 を使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、 を指定しない場合userIds、アクセスプレビューはスナップショットを なしと見なしますuserIds。
- 既存の共有 の削除を提案するにはaccountIds、 に空のリストを指定できますuserIds。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EcrRepositoryConfiguration

Amazon ECR リポジトリの提案されたアクセスコントロール設定。Amazon ECR ポリシーを指定することで、新しい Amazon ECR リポジトリまたは所有している既存の Amazon ECR リポジトリの設定を提案できます。詳細については、[「リポジトリ」](#)を参照してください。

- 設定が既存の Amazon ECR リポジトリ用であり、Amazon ECR ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはリポジトリの既存の Amazon ECR ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon ECR リポジトリを想定します。
- 既存の Amazon ECR リポジトリポリシーの削除を提案するには、Amazon ECR ポリシーに空の文字列を指定できます。

内容

repositoryPolicy

Amazon ECR リポジトリに適用する JSON リポジトリポリシーテキスト。詳細については、「Amazon ECR ユーザーガイド」の[「プライベートリポジトリポリシーの例」](#)を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EfsFileSystemConfiguration

Amazon EFS ファイルシステムの提案されたアクセスコントロール設定。Amazon EFS ポリシーを指定することで、新しい Amazon EFS ファイルシステムまたは所有している既存の Amazon EFS ファイルシステムの設定を提案できます。詳細については、[「Amazon EFS でのファイルシステムの使用」](#)を参照してください。

- 設定が既存の Amazon EFS ファイルシステム用であり、Amazon EFS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはファイルシステムの既存の Amazon EFS ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon EFS ファイルシステムを引き受けます。
- 既存の Amazon EFS ファイルシステムポリシーの削除を提案するには、Amazon EFS ポリシーに空の文字列を指定できます。

内容

fileSystemPolicy

Amazon EFS ファイルシステムに適用する JSON ポリシー定義。ファイルシステムポリシーを構成する要素の詳細については、[「Amazon EFS リソースベースのポリシー」](#)を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ExternalAccessDetails

外部アクセスの検出結果に関する情報が含まれます。

内容

condition

外部アクセスの検出結果となった、分析されたポリシーステートメントの条件。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: はい

action

外部プリンシパルが使用するアクセス許可を持つ、分析されたポリシーステートメントのアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

isPublic

外部アクセスの検出結果がパブリックかどうかを指定します。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

principal

信頼ゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resourceControlPolicyRestriction

Organizations リソースコントロールポリシー (RCP) を使用してリソース所有者が検出結果に適用する制限のタイプ。

- APPLICABLE: 組織には RCP がありますが、有効なアクセス許可の評価に IAM Access Analyzer は含まれません。たとえば、s3:DeleteObjectが RCP によってブロックされ、制

限が の場合APPLICABLE、 s3:DeleteObjectは引き続き結果のアクションのリストに含まれます。

- FAILED_TO_EVALUATE_RCP: RCP の評価中にエラーが発生しました。
- NOT_APPLICABLE: 組織内に RCP が存在しないか、リソースに適用可能な RCP がありませんでした。例えば、分析対象のリソースは Amazon RDS スナップショットであり、組織内に RCP がありますが、RCP は Amazon S3 バケットにのみ影響します。
- APPLIED: この制限は現在、外部アクセスの検出結果では使用できません。

型: 文字列

有効な値 : APPLICABLE | FAILED_TO_EVALUATE_RCP | NOT_APPLICABLE | APPLIED

必須 : いいえ

sources

外部アクセス検出結果のソース。これは、検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

タイプ: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ExternalAccessFindingsStatistics

指定された外部アクセスアナライザーの検出結果に関する集計統計を提供します。

内容

resourceTypeStatistics

指定された外部アクセスアナライザーの各リソースタイプのアクティブなクロスアカウントおよびパブリック検出結果の合計数。

タイプ: [ResourceTypeDetails](#) オブジェクトマップへの文字列です。

有効なキー: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: いいえ

totalActiveFindings

指定された外部アクセスアナライザーのアクティブな検出結果の数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalArchivedFindings

指定された外部アクセスアナライザーのアーカイブされた検出結果の数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalResolvedFindings

指定された外部アクセスアナライザーで解決された検出結果の数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Finding

検出結果に関する情報が含まれます。

内容

analyzedAt

リソースが分析された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

condition

結果となった分析済みポリシーステートメントの条件。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: はい

createdAt

検出結果が生成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

id

結果の ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

検出結果で識別されるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: はい

status

結果の現在のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

updatedAt

検出結果が更新された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

action

外部プリンシパルが使用するアクセス許可を持つ、分析されたポリシーステートメントのアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

error

エラー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

isPublic

検出結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可するかどうかを示します。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

principal

信頼ゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

resourceControlPolicyRestriction

Organizations リソースコントロールポリシー (RCP) を使用してリソース所有者が検出結果に適用する制限のタイプ。

型: 文字列

有効な値 : APPLICABLE | FAILED_TO_EVALUATE_RCP | NOT_APPLICABLE | APPLIED

必須 : いいえ

sources

検出結果のソース。これは、検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

タイプ: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingAggregationAccountDetails

組織の未使用のアクセスアナライザー AWS アカウント 内の の検出結果に関する情報が含まれます。

内容

account

未使用のアクセス検出結果の詳細 AWS アカウント が提供される の ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

details

指定された の未使用のアクセスのタイプごとにアクティブな検出結果の数を提供します AWS アカウント。

タイプ: 整数マッピングする文字列

必須: いいえ

numberOfActiveFindings

指定された のアクティブな未使用のアクセス検出結果の数 AWS アカウント。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingDetails

外部アクセスまたは未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれます。FindingDetails オブジェクトで使用できるパラメータは 1 つだけです。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

externalAccessDetails

外部アクセスアナライザーの検出結果の詳細。

型: [ExternalAccessDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

internalAccessDetails

内部アクセスアナライザーの検出結果の詳細。これには、AWS 組織またはアカウント内で識別されるアクセスパターンに関する情報が含まれます。

型: [InternalAccessDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedIamRoleDetails

未使用の IAM ロールの検出結果タイプを持つ未使用のアクセスアナライザーの検出結果の詳細。

型: [UnusedIamRoleDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedIamUserAccessKeyDetails

未使用の IAM ユーザーアクセスキーの検出結果タイプを持つ未使用のアクセスアナライザーの検出結果の詳細。

型: [UnusedIamUserAccessKeyDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedIamUserPasswordDetails

未使用の IAM ユーザーパスワード検出結果タイプを持つ未使用のアクセスアナライザー検出結果の詳細。

型: [UnusedIamUserPasswordDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedPermissionDetails

未使用のアクセスアナライザーの検出結果と未使用のアクセス許可の検出結果タイプの詳細。

型: [UnusedPermissionDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSource

検出結果のソース。これは、検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

内容

type

検出結果を生成したアクセスのタイプを示します。

型: 文字列

有効な値 : POLICY | BUCKET_ACL | S3_ACCESS_POINT | S3_ACCESS_POINT_ACCOUNT

必須: はい

detail

検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかに関する詳細が含まれます。これは Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

型: [FindingSourceDetail](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSourceDetail

検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかに関する詳細が含まれます。これは Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

内容

accessPointAccount

検出結果を生成したクロスアカウントアクセスポイントのアカウント。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

accessPointArn

検出結果を生成したアクセスポイントの ARN。ARN 形式は、ARN がアクセスポイントを表すか、マルチリージョンアクセスポイントを表すかによって異なります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingsStatistics

外部または未使用のアクセスアナライザーの集計統計に関する情報が含まれます。FindingsStatistics オブジェクトで使用できるパラメータは 1 つだけです。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

externalAccessFindingsStatistics

外部アクセスアナライザーの集計統計。

型: [ExternalAccessFindingsStatistics](#) オブジェクト

必須: いいえ

internalAccessFindingsStatistics

内部アクセスアナライザーの集計統計。これには、組織またはアカウント内の AWS 内部アクセスに関連するアクティブ、アーカイブ、解決された結果に関する情報が含まれます。

型: [InternalAccessFindingsStatistics](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedAccessFindingsStatistics

未使用のアクセスアナライザーの集計統計。

型: [UnusedAccessFindingsStatistics](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSummary

検出結果に関する情報が含まれます。

内容

analyzedAt

検出結果を生成したリソースベースのポリシーが分析された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

condition

結果となった分析済みポリシーステートメントの条件。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: はい

createdAt

検出結果が作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

id

結果の ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

外部プリンシパルがアクセスできるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: はい

status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

updatedAt

検出結果が最後に更新された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

action

外部プリンシパルが使用するアクセス許可を持つ、分析されたポリシーステートメントのアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

error

エラー検出結果の原因となったエラー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

isPublic

パブリックアクセスを許可するポリシーを持つリソースが結果によって報告されるかどうかを示します。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

principal

信頼ゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

resourceControlPolicyRestriction

Organizations リソースコントロールポリシー (RCP) を使用してリソース所有者が検出結果に適用する制限のタイプ。

型: 文字列

有効な値 : APPLICABLE | FAILED_TO_EVALUATE_RCP | NOT_APPLICABLE | APPLIED

必須 : いいえ

sources

検出結果のソース。これは、検出結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。Amazon S3 バケットの検出結果に対して入力されます。

タイプ: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FindingSummaryV2

検出結果に関する情報が含まれます。

内容

analyzedAt

検出結果を生成したリソースベースのポリシーまたは IAM エンティティが分析された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

createdAt

検出結果が作成された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

id

結果の ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

resourceType

外部プリンシパルがアクセスできるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : `AWS::S3::Bucket` | `AWS::IAM::Role` | `AWS::SQS::Queue` |
`AWS::Lambda::Function` | `AWS::Lambda::LayerVersion` | `AWS::KMS::Key`

| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: はい

status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

updatedAt

検出結果が最後に更新された時刻。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

error

エラー検出結果の原因となったエラー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

findingType

アクセス検出結果のタイプ。外部アクセスアナライザーの場合、タイプは ExternalAccess です。未使用のアクセスアナライザーの場合、タイプは UnusedIAMRole、UnusedIAMUserAccessKey、UnusedIAMUserPassword、または UnusedPermission です。内部アクセスアナライザーの場合、タイプは InternalAccess です。

型: 文字列

有効な値 : ExternalAccess | UnusedIAMRole | UnusedIAMUserAccessKey |
UnusedIAMUserPassword | UnusedPermission | InternalAccess

必須 : いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GeneratedPolicy

生成されたポリシーのテキストが含まれます。

内容

policy

新しいポリシーのコンテンツとして使用するテキスト。ポリシーは [CreatePolicy](#) アクションを使用して作成されます。

タイプ: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GeneratedPolicyProperties

生成されたポリシーの詳細が含まれます。

内容

principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

cloudTrailProperties

生成されたポリシーTrailに使用される の詳細を一覧表示します。

型: [CloudTrailProperties](#) オブジェクト

必須: いいえ

isComplete

この値は、生成されたポリシーに、指定した CloudTrail 証跡から IAM Access Analyzer が識別したサービスに対して可能なアクションがすべて含まれtrueている場合、 に設定されます。それ以外のfalse場合は に設定されます。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

GeneratedPolicyResult

生成されたポリシーとその詳細のテキストが含まれます。

内容

properties

生成されたポリシーのプロパティを含むGeneratedPolicyPropertiesオブジェクト。

型: [GeneratedPolicyProperties](#) オブジェクト

必須: はい

generatedPolicies

新しいポリシーのコンテンツとして使用するテキスト。ポリシーは [CreatePolicy](#) アクションを使用して作成されます。

タイプ: [GeneratedPolicy](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

IamRoleConfiguration

IAM ロールの提案されたアクセスコントロール設定。信頼ポリシーを指定することで、新しい IAM ロールまたは所有する既存の IAM ロールの設定を提案できます。新しい IAM ロールの設定の場合は、信頼ポリシーを指定する必要があります。所有している既存の IAM ロールの設定で、信頼ポリシーを提案しない場合、アクセスプレビューではロールに既存の信頼ポリシーが使用されます。提示された信頼ポリシーを空の文字列にすることはできません。ロールの信頼ポリシーの制限の詳細については、[「IAM と AWS STS クォータ」](#)を参照してください。

内容

trustPolicy

IAM ロールの提案された信頼ポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InlineArchiveRule

アーカイブルールの子条件ステートメント。各アーカイブルールには複数の条件があります。

内容

filter

条件の条件と値。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

ルールの名前。

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternalAccessAnalysisRule

内部アクセスアナライザーの分析ルールに関する情報が含まれています。分析ルールは、ルールの作成時に定義した基準に基づいて、結果を生成するエンティティを決定します。

内容

inclusions

分析に含める基準を含む内部アクセスアナライザーのルールのリスト。ルール基準を満たすリソースのみが結果を生成します。

タイプ: [InternalAccessAnalysisRuleCriteria](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternalAccessAnalysisRuleCriteria

内部アクセスアナライザーの分析ルールの基準。

内容

accountIds

内部アクセス分析ルール基準に適用する AWS アカウント IDs のリスト。アカウント IDs は、組織レベルのアナライザーの分析ルール基準にのみ適用できます。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

resourceArns

内部アクセス分析ルール基準に適用するリソース ARNs のリスト。アナライザーは、これらの ARNs に一致するリソースの結果のみを生成します。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

resourceTypes

内部アクセス分析ルール基準に適用するリソースタイプのリスト。アナライザーは、これらのタイプのリソースの結果のみを生成します。これらのリソースタイプは現在、内部アクセスアナライザーでサポートされています。

- `AWS::S3::Bucket`
- `AWS::RDS::DBSnapshot`
- `AWS::RDS::DBClusterSnapshot`
- `AWS::S3Express::DirectoryBucket`
- `AWS::DynamoDB::Table`
- `AWS::DynamoDB::Stream`

型: 文字列の配列

有効な値: `AWS::S3::Bucket` | `AWS::IAM::Role` | `AWS::SQS::Queue` | `AWS::Lambda::Function` | `AWS::Lambda::LayerVersion` | `AWS::KMS::Key`

| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |
AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternalAccessConfiguration

AWS 組織またはアカウントの内部アクセスアナライザーの設定を指定します。この設定により、アナライザーが AWS 環境内の内部アクセスを評価する方法が決まります。

内容

analysisRule

内部アクセスアナライザーの分析ルールに関する情報が含まれています。これらのルールは、分析するリソースとアクセスパターンを決定します。

型: [InternalAccessAnalysisRule](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternalAccessDetails

内部アクセスの検出結果に関する情報が含まれます。これには、AWS 組織またはアカウント内で識別されたアクセスに関する詳細が含まれます。

内容

accessType

検出結果で識別される内部アクセスのタイプ。これは、AWS 環境内でアクセスがどのように付与されるかを示します。

型: 文字列

有効な値: INTRA_ACCOUNT | INTRA_ORG

必須: いいえ

action

内部アクセス許可を持つ分析済みポリシーステートメントのアクション。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

condition

内部アクセスの検出結果となった、分析されたポリシーステートメントの条件。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

principal

内部環境内のリソースにアクセスできるプリンシパル。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

principalOwnerAccount

内部アクセスの検出結果で識別されたプリンシパルを所有する AWS アカウント ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

principalType

IAM ロールや IAM ユーザーなど、内部アクセスの検出結果で識別されるプリンシパルのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : IAM_ROLE | IAM_USER

必須 : いいえ

resourceControlPolicyRestriction

リソースコントロールポリシー (RCP) を使用して AWS Organizations リソース所有者が検出結果に適用する制限のタイプ。

- APPLICABLE: 組織には RCP がありますが、有効なアクセス許可の評価に IAM Access Analyzer は含まれません。たとえば、s3:DeleteObjectが RCP によってブロックされ、制限が の場合APPLICABLE、s3:DeleteObjectは引き続き結果のアクションのリストに含まれます。アカウントを信頼ゾーンとする内部アクセスの検出結果にのみ適用されます。
- FAILED_TO_EVALUATE_RCP: RCP の評価中にエラーが発生しました。
- NOT_APPLICABLE: 組織内に RCP が存在しませんでした。アカウントを信頼ゾーンとする内部アクセスの検出結果の場合、 はリソースに適用可能な RCP がないことも示すNOT_APPLICABLEことができます。
- APPLIED: RCP が組織に存在し、IAM Access Analyzer がその RCP を有効なアクセス許可の評価に含めました。たとえば、s3:DeleteObjectが RCP によってブロックされ、制限が の場合APPLIED、 は検出結果のアクションのリストに含まれs3:DeleteObjectません。組織を信頼ゾーンとする内部アクセスの検出結果にのみ適用されます。

型: 文字列

有効な値 : APPLICABLE | FAILED_TO_EVALUATE_RCP | NOT_APPLICABLE | APPLIED

必須 : いいえ

serviceControlPolicyRestriction

AWS Organizations サービスコントロールポリシー (SCP) によって検出結果に適用される制限のタイプ。

- **APPLICABLE**: 組織に SCP がありますが、IAM Access Analyzer が有効なアクセス許可の評価に SCP を含めていません。アカウントを信頼ゾーンとする内部アクセスの検出結果にのみ適用されます。
- **FAILED_TO_EVALUATE_SCP**: SCP の評価中にエラーが発生しました。
- **NOT_APPLICABLE**: 組織内に SCP が存在しませんでした。アカウントを信頼ゾーンとする内部アクセスの検出結果の場合、NOT_APPLICABLE はプリンシパルに適用可能な SCP がないことを示すこともできます。
- **APPLIED**: SCP が組織に存在し、IAM Access Analyzer がその SCP を有効なアクセス許可の評価に含めました。組織を信頼ゾーンとする内部アクセスの検出結果にのみ適用されます。

型: 文字列

有効な値 : APPLICABLE | FAILED_TO_EVALUATE_SCP | NOT_APPLICABLE | APPLIED

必須 : いいえ

sources

内部アクセス検出結果のソース。これは、検出結果を生成したアクセスが AWS 環境内でどのように付与されるかを示します。

タイプ: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternalAccessFindingsStatistics

指定された内部アクセスアナライザーの検出結果に関する集計統計を提供します。これには、アクティブな検出結果、アーカイブされた検出結果、解決された検出結果の数が含まれます。

内容

resourceTypeStatistics

指定された内部アクセスアナライザーの各リソースタイプのアクティブな検出結果の合計数。

タイプ: [InternalAccessResourceTypeDetails](#) オブジェクトマップへの文字列です。

有効なキー: AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue | AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key | AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem | AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot | AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic | AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table | AWS::DynamoDB::Stream | AWS::IAM::User

必須: いいえ

totalActiveFindings

指定された内部アクセスアナライザーのアクティブな検出結果の数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalArchivedFindings

指定された内部アクセスアナライザーのアーカイブされた検出結果の数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalResolvedFindings

指定された内部アクセスアナライザーで解決された検出結果の数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternalAccessResourceTypeDetails

内部アクセスアナライザーのリソースタイプのアクティブな検出結果、アーカイブされた検出結果、解決された検出結果の合計数に関する情報が含まれます。

内容

totalActiveFindings

内部アクセスアナライザーのリソースタイプのアクティブな検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalArchivedFindings

内部アクセスアナライザー内のリソースタイプのアーカイブされた検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalResolvedFindings

内部アクセスアナライザーのリソースタイプの解決済み検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

InternetConfiguration

この設定では、Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントのネットワークオリジンを に設定しますInternet。

内容

この例外構造のメンバーは、コンテキストに依存します。

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

JobDetails

ポリシー生成リクエストの詳細が含まれます。

内容

jobId

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる。で を使用して生成されたポリシーを取得するかGetGeneratedPolicy、 CancelPolicyGeneration で を使用してポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

タイプ: 文字列

必須: はい

startedOn

ジョブが開始された時刻のタイムスタンプ。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

status

ジョブリクエストのステータス。

型: 文字列

有効な値 : IN_PROGRESS | SUCCEEDED | FAILED | CANCELED

必須: はい

completedOn

ジョブが完了した時刻のタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

jobError

ポリシー生成リクエストのジョブエラー。

型: [JobError](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

JobError

ポリシー生成エラーの詳細が含まれます。

内容

code

ジョブエラーコード。

型: 文字列

有効な値 : AUTHORIZATION_ERROR | RESOURCE_NOT_FOUND_ERROR | SERVICE_QUOTA_EXCEEDED_ERROR | SERVICE_ERROR

必須: はい

message

エラーに関する特定の情報。たとえば、どのサービスクォータを超過したか、どのリソースが見つからないかなどです。

タイプ: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

KmsGrantConfiguration

KMS キーの提案された許可設定。詳細については、「[CreateGrant](#)」を参照してください。

内容

granteePrincipal

許可が許可するオペレーションを実行するアクセス許可が付与されているプリンシパル。

タイプ: 文字列

必須: はい

issuingAccount

権限が発行された AWS アカウント。アカウントは、キーの所有者以外のアカウントによって発行された AWS KMS 許可を提案するために使用されます。

タイプ: 文字列

必須: はい

operations

許可が許可するオペレーションのリスト。

型: 文字列の配列

有効な値: `CreateGrant` | `Decrypt` | `DescribeKey` | `Encrypt` | `GenerateDataKey` | `GenerateDataKeyPair` | `GenerateDataKeyPairWithoutPlaintext` | `GenerateDataKeyWithoutPlaintext` | `GetPublicKey` | `ReEncryptFrom` | `ReEncryptTo` | `RetireGrant` | `Sign` | `Verify`

必須: はい

constraints

この構造を使用して、[オペレーションリクエストに指定された暗号化コンテキストが含まれている場合にのみ、グラントで暗号化オペレーションを許可することを提案します。](#)

型: [KmsGrantConstraints](#) オブジェクト

必須: いいえ

retiringPrincipal

[RetireGrant](#) オペレーションを使用して許可を廃止するアクセス許可が付与されているプリンシパル。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

KmsGrantConstraints

この構造を使用して、[オペレーションリクエストに指定された暗号化コンテキストが含まれている場合にのみ、許可で暗号化オペレーションを許可することを提案します](#)。指定できる暗号化コンテキストのタイプは 1 つだけです。空のマップは未指定として扱われます。詳細については、「[GrantConstraints](#)」を参照してください。

内容

encryptionContextEquals

[暗号化オペレーション](#)リクエストの暗号化コンテキストと一致する必要があるキーと値のペアのリスト。許可は、リクエストの暗号化コンテキストがこの制約で指定された暗号化コンテキストと同じ場合にのみ、オペレーションを許可します。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

encryptionContextSubset

[暗号化オペレーション](#)リクエストの暗号化コンテキストに含める必要があるキーと値のペアのリスト。この許可は、リクエストの暗号化コンテキストにこの制約で指定されたキーと値のペアが含まれている場合にのみ暗号化オペレーションを許可しますが、追加のキーと値のペアを含めることができます。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

KmsKeyConfiguration

KMS キーの提案されたアクセスコントロール設定。キーポリシーと AWS KMS 許可設定を指定することで、新しい KMS キーまたは所有する既存の KMS キーの設定を提案できます。設定が既存のキー用で、キーポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはキーの既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、キーポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはデフォルトのキーポリシーを使用します。提案されたキーポリシーを空の文字列にすることはできません。詳細については、「[デフォルトのキーポリシー](#)」を参照してください。キーポリシーの制限の詳細については、「[リソースクォータ](#)」を参照してください。

内容

grants

KMS キーの提案された権限設定のリスト。提案された許可設定が既存のキー用である場合、アクセスプレビューは既存の許可の代わりに提案された許可設定のリストを使用します。それ以外の場合、アクセスプレビューはキーの既存の許可を使用します。

タイプ: [KmsGrantConfiguration](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

keyPolicies

KMS キーのリソースポリシー設定。キーポリシーの名前の有効な値は `default` のみです。詳細については、「[デフォルトのキーポリシー](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Location

JSON 表現と対応するスパンのパスとして表されるポリシー内の場所。

内容

path

一連のパス要素として表されるポリシー内のパス。

型: [PathElement](#) オブジェクトの配列

必須: はい

span

ポリシー内のスパン。

型: [Span](#) オブジェクト

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

NetworkOriginConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントVpcConfigurationに適用する InternetConfigurationまたはの提案。Amazon S3 インターネットからアクセスポイントにアクセスできるようにするか、そのアクセスポイントを介して行われるすべてのリクエストが特定の Virtual Private Cloud (VPC) から発信されるように指定できます。指定できるネットワーク設定のタイプは 1 つだけです。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

internetConfiguration

Internet オリジンを持つ Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントの設定。

型: [InternetConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

vpcConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントに提案された Virtual Private Cloud (VPC) 設定。VPC 設定は、マルチリージョンアクセスポイントには適用されません。詳細については、「[VpcConfiguration](#)」を参照してください。

型: [VpcConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PathElement

ポリシーの JSON 表現を通過するパス内の 1 つの要素。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

index

JSON 配列のインデックスを指します。

タイプ: 整数

必須: いいえ

key

JSON オブジェクトのキーを指します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

substring

JSON オブジェクト内のリテラル文字列の部分文字列を指します。

型: [Substring](#) オブジェクト

必須: いいえ

value

JSON オブジェクト内の特定のキーに関連付けられた値を指します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PolicyGeneration

ポリシーの生成ステータスとプロパティに関する詳細が含まれます。

内容

jobId

StartPolicyGeneration オペレーションによって返JobIdされる。で を使用して生成されたポリシーを取得するかGetGeneratedPolicy、 CancelPolicyGenerationで を使用してポリシー生成リクエストをキャンセルJobIdできます。

タイプ: 文字列

必須: はい

principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}

必須: はい

startedOn

ポリシー生成が開始された時刻のタイムスタンプ。

タイプ: タイムスタンプ

必須: はい

status

ポリシー生成リクエストのステータス。

型: 文字列

有効な値 : IN_PROGRESS | SUCCEEDED | FAILED | CANCELED

必須: はい

completedOn

ポリシーの生成が完了した時刻のタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PolicyGenerationDetails

ポリシーが生成される IAM エンティティに関する ARN の詳細が含まれます。

内容

principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

タイプ: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Position

ポリシー内の位置。

内容

column

0 から始まる位置の列。

タイプ: 整数

必須: はい

line

1 から始まる位置の行。

タイプ: 整数

必須: はい

offset

位置に対応するポリシー内のオフセット。0 から開始します。

タイプ: 整数

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbClusterSnapshotAttributeValue

手動 Amazon RDS DB クラスタースナップショット属性の値。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

accountIds

手動 Amazon RDS DB クラスタースナップショットにアクセスできる AWS アカウント IDs。値allを指定すると、Amazon RDS DB クラスタースナップショットはパブリックになり、すべてのユーザーがコピーまたは復元できます AWS アカウント。

- 設定が既存の Amazon RDS DB クラスタースナップショット用であり、accountIdsで を指定しない場合RdsDbClusterSnapshotAttributeValue、アクセスプレビューはスナップショットaccountIdsに既存の共有 を使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、accountIdsで を指定しない場合RdsDbClusterSnapshotAttributeValue、アクセスプレビューは属性なしでスナップショットを考慮します。
- 既存の共有 の削除を提案するにはaccountIds、accountIdsで の空のリストを指定できますRdsDbClusterSnapshotAttributeValue。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbClusterSnapshotConfiguration

Amazon RDS DB クラスタースナップショットの提案されたアクセスコントロール設定。RdsDbClusterSnapshotAttributeValue およびオプションの AWS KMS 暗号化キーを指定することで、新しい Amazon RDS DB クラスタースナップショットまたは所有する Amazon RDS DB クラスタースナップショットの設定を提案できます。詳細については、「[ModifyDBClusterSnapshotAttribute](#)」を参照してください。

内容

attributes

手動 DB クラスタースナップショット属性の名前と値。手動 DB クラスタースナップショット属性は、手動 DB クラスタースナップショットの復元 AWS アカウント を他の に許可するために使用されます。属性マップの AttributeName の唯一の有効な値は `restore` です。

タイプ: [RdsDbClusterSnapshotAttributeValue](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

kmsKeyId

暗号化された Amazon RDS DB クラスタースナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon RDS DB クラスタースナップショット用であり、`kmsKeyId` を指定しない場合 `kmsKeyId`、または空の文字列を指定した場合、アクセスプレビューはスナップショット `kmsKeyId` の既存の `kmsKeyId` を使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、`kmsKeyId` を指定しない場合 `kmsKeyId`、アクセスプレビューはスナップショットを暗号化されていないと見なします。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbSnapshotAttributeValue

手動 Amazon RDS DB スナップショット属性の名前と値。手動 DB スナップショット属性は、手動 DB スナップショットの復元 AWS アカウント を他の に許可するために使用されます。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

accountIds

手動 Amazon RDS DB スナップショットにアクセスできる AWS アカウント IDs。値 `all` を指定すると、Amazon RDS DB スナップショットはパブリックになり、すべてのユーザーがコピーまたは復元できます AWS アカウント。

- 設定が既存の Amazon RDS DB スナップショット用であり、`accountIds` で を指定しない場合 `RdsDbSnapshotAttributeValue`、アクセスプレビューはスナップショット `accountIds` に既存の共有 を使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、`accountIds` で を指定しない場合 `RdsDbSnapshotAttributeValue`、アクセスプレビューは属性なしでスナップショットと見なします。
- 既存の共有 の削除を提案するには `accountIds`、`accountIds` で の空のリストを指定できます `RdsDbSnapshotAttributeValue`。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RdsDbSnapshotConfiguration

Amazon RDS DB スナップショットの提案されたアクセスコントロール設定。RdsDbSnapshotAttributeValue およびオプションの AWS KMS 暗号化キーを指定することで、新しい Amazon RDS DB スナップショットまたは所有する Amazon RDS DB スナップショットの設定を提案できます。詳細については、「[ModifyDBSnapshotAttribute](#)」を参照してください。

内容

attributes

手動 DB スナップショット属性の名前と値。手動 DB スナップショット属性は、手動 DB スナップショットの復元 AWS アカウント を他の に許可するために使用されます。属性マップの attributeName の唯一の有効な値は復元です。

タイプ: [RdsDbSnapshotAttributeValue](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

kmsKeyId

暗号化された Amazon RDS DB スナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon RDS DB スナップショット用であり、 を指定しない場合 kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、アクセスプレビューはスナップショット kmsKeyId の既存のを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用であり、 を指定しない場合 kmsKeyId、アクセスプレビューはスナップショットを暗号化されていないと見なします。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ReasonSummary

アクセスのチェックが合格または不合格になった理由に関する情報が含まれています。

内容

description

アクセスをチェックした結果の推論の説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

statementId

理由ステートメントの識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

statementIndex

理由ステートメントのインデックス番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RecommendationError

結果のレコメンデーションの取得が失敗した理由に関する情報が含まれています。

内容

code

結果のレコメンデーションの取得に失敗したエラーコード。

タイプ: 文字列

必須: はい

message

結果のレコメンデーションの取得に失敗したエラーメッセージ。

タイプ: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RecommendedStep

未使用のアクセスアナライザの検出結果の推奨ステップに関する情報が含まれています。

内容

Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

unusedPermissionsRecommendedStep

未使用のアクセス許可の検出結果に推奨されるステップ。

型: [UnusedPermissionsRecommendedStep](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ResourceTypeDetails

外部アクセスアナライザーのリソースタイプのアクティブなクロスアカウントおよびパブリック検出結果の総数に関する情報が含まれます。

内容

totalActiveCrossAccount

リソースタイプのアクティブなクロスアカウント検出結果の総数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalActiveErrors

リソースタイプのアクティブなエラーの合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalActivePublic

リソースタイプのアクティブなパブリック検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3AccessPointConfiguration

バケットの Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントの設定。バケットごとに最大 10 個のアクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントを提案できます。提案された Amazon S3 アクセスポイント設定が既存のバケット用である場合、アクセスプレビューでは、既存のアクセスポイントの代わりに提案されたアクセスポイント設定が使用されます。ポリシーのないアクセスポイントを提案するには、アクセスポイントポリシーとして空の文字列を指定します。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。アクセスポイントポリシーの制限事項の詳細については、[アクセスポイントの制約と制限](#)を参照してください。。

内容

accessPointPolicy

アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

networkOrigin

この Amazon S3 アクセスポイントに適用する VpcConfiguration Internet との提案。VpcConfiguration はマルチリージョンアクセスポイントには適用されません。アクセスプレビューが新しいリソース用で、どちらも指定されていない場合、アクセスプレビューはネットワークオリジン Internet にを使用します。アクセスプレビューが既存のリソース用であり、どちらも指定されていない場合、アクセスプレビューは既存のネットワークオリジンを使用します。

型: [NetworkOriginConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

publicAccessBlock

この Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントに適用する提案された S3PublicAccessBlock 設定。

型: [S3PublicAccessBlockConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3BucketAclGrantConfiguration

Amazon S3 バケットの提案されたアクセスコントロールリスト許可設定。詳細については、[「ACLを指定する方法」](#)を参照してください。

内容

grantee

アクセス権を割り当てる被付与者。

型: [AclGrantee](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: はい

permission

付与されるアクセス許可。

型: 文字列

有効な値 : READ | WRITE | READ_ACP | WRITE_ACP | FULL_CONTROL

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3BucketConfiguration

Amazon S3 バケットの提案されたアクセスコントロール設定。Amazon S3 バケットポリシー、バケット ACLs、バケット BPA 設定、Amazon S3 アクセスポイント、バケットにアタッチされたマルチリージョンアクセスポイントを指定することで、新しい Amazon S3 バケットまたは所有している既存の Amazon S3 バケットの設定を提案できます。設定が既存の Amazon S3 バケット用であり、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはバケットにアタッチされた既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではポリシーのないバケットが想定されます。既存のバケットポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。バケットポリシーの制限の詳細については、「[バケットポリシーの例](#)」を参照してください。

内容

accessPoints

バケットの Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントの設定。バケットごとに最大 10 個の新しいアクセスポイントを提案できます。

タイプ: [S3AccessPointConfiguration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

キーパターン: `arn:[^:]*:s3:[^:]*:[^:]*:accesspoint/.*`

必須: いいえ

bucketAclGrants

Amazon S3 バケットの ACL 許可の提案リスト。バケットごとに最大 100 個の ACL 許可を提案できます。提案された許可設定が既存のバケット用である場合、アクセスプレビューでは、既存の許可の代わりに提案された許可設定のリストが使用されます。それ以外の場合、アクセスプレビューはバケットの既存の許可を使用します。

タイプ: [S3BucketAclGrantConfiguration](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

bucketPolicy

Amazon S3 バケットの提案されたバケットポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

bucketPublicAccessBlock

Amazon S3 バケットのブロックパブリックアクセス設定案。

型: [S3PublicAccessBlockConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3ExpressDirectoryAccessPointConfiguration

Amazon S3 ディレクトリバケットにアタッチされたアクセスポイントの提案された設定。バケットあたり最大 10 個のアクセスポイントを提案できます。提案されたアクセスポイント設定が既存の Amazon S3 ディレクトリバケット用である場合、アクセスプレビューは既存のアクセスポイントの代わりに提案されたアクセスポイント設定を使用します。ポリシーのないアクセスポイントを提案するには、アクセスポイントポリシーとして空の文字列を指定します。Amazon S3 ディレクトリバケットのアクセスポイントの詳細については、「[Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド](#)」の「[アクセスポイントを使用したディレクトリバケットへのアクセスの管理](#)」を参照してください。

内容

accessPointPolicy

Amazon S3 ディレクトリバケットアクセスポイントの提案されたアクセスポイントポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

networkOrigin

Amazon S3 アクセスポイントVpcConfigurationに適用する InternetConfigurationまたは の提案。Amazon S3 インターネットからアクセスポイントにアクセスできるようにするか、そのアクセスポイントを介して行われるすべてのリクエストが特定の Virtual Private Cloud (VPC) から発信されるように指定できます。指定できるネットワーク設定のタイプは 1 つだけです。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。

型: [NetworkOriginConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3ExpressDirectoryBucketConfiguration

Amazon S3 ディレクトリバケットの提案されたアクセスコントロール設定。Amazon S3 バケットポリシーを指定することで、新しい Amazon S3 ディレクトリバケットまたは所有している既存の Amazon S3 ディレクトリバケットの設定を提案できます。設定が既存の Amazon S3 ディレクトリバケット用であり、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはディレクトリバケットにアタッチされた既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソース用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのないディレクトリバケットを想定します。既存のバケットポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。Amazon S3 ディレクトリバケットポリシーの詳細については、「Amazon Simple Storage Service ユーザーガイド」の「[ディレクトリバケットのバケットポリシーの例](#)」を参照してください。

内容

accessPoints

Amazon S3 ディレクトリバケットの提案されたアクセスポイント。

タイプ: [S3ExpressDirectoryAccessPointConfiguration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

キーパターン: `arn:[^:]*:s3express:[^:]*:[^:]*:accesspoint/.*`

必須: いいえ

bucketPolicy

Amazon S3 ディレクトリバケットの提案されたバケットポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

S3PublicAccessBlockConfiguration

この Amazon S3 バケットに適用するPublicAccessBlock設定。提案された設定が既存の Amazon S3 バケット用であり、設定が指定されていない場合、アクセスプレビューは既存の設定を使用します。提案された設定が新しいバケット用で、設定が指定されていない場合、アクセスプレビューは `false` を使用します。提案された設定が新しいアクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイント用で、アクセスポイントの BPA 設定が指定されていない場合、アクセスプレビューは `true` を使用します。詳細については、「[PublicAccessBlockConfiguration](#)」を参照してください。

内容

ignorePublicAcls

Amazon S3 がこのバケットおよびこのバケットのオブジェクトのパブリック ACL を無視するかどうかを指定します。

タイプ: ブール値

必須: はい

restrictPublicBuckets

Amazon S3 が、このバケットのパブリックバケットポリシーを制限するかどうかを指定します。

タイプ: ブール値

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SecretsManagerSecretConfiguration

Secrets Manager シークレットの設定。詳細については、「[CreateSecret](#)」を参照してください。

シークレットポリシーとオプションの AWS KMS 暗号化キーを指定することで、所有する新しいシークレットまたは既存のシークレットの設定を提案できます。設定が既存のシークレット用であり、シークレットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはシークレットの既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのないシークレットを想定します。既存のポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。提案された設定が新しいシークレット用で、KMS キー ID を指定しない場合、アクセスプレビューは AWS マネージドキーを使用します `aws/secretsmanager`。KMS キー ID に空の文字列を指定すると、アクセスプレビューはの AWS マネージドキーを使用します AWS アカウント。シークレットポリシーの制限の詳細については、「[のクォータ](#)」を参照してください [AWS Secrets Manager](#)。

内容

`kmsKeyId`

KMS キーの提案された ARN、キー ID、またはエイリアス。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

`secretPolicy`

シークレットにアクセスまたは管理できるユーザーを定義する提案されたリソースポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SnsTopicConfiguration

Amazon SNS トピックの提案されたアクセスコントロール設定。ポリシーを指定することで、新しい Amazon SNS トピックまたは所有している既存の Amazon SNS トピックの設定を提案できません。設定が既存の Amazon SNS トピック用であり、Amazon SNS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはトピックの既存の Amazon SNS ポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソース用であり、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon SNS トピックを想定します。既存の Amazon SNS トピックポリシーの削除を提案するには、Amazon SNS ポリシーに空の文字列を指定できます。詳細については、[「トピック」](#)を参照してください。

内容

topicPolicy

Amazon SNS トピックにアクセスできるユーザーを定義する JSON ポリシーテキスト。詳細については、[Amazon SNSデベロッパーガイド](#)の「[Amazon SNS アクセスコントロールの例](#)」を参照してください。 Amazon SNS

タイプ: 文字列

長さの制約: 最小長は 0 です。最大長は 30720 です。

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SortCriteria

ソートに使用される条件。

内容

attributeName

ソートする属性の名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

orderBy

昇順または降順のソート順。

型: 文字列

有効な値 : ASC | DESC

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Span

ポリシー内のスパン。スパンは、開始位置 (包括的) と終了位置 (包括的) で構成されます。

内容

end

スパンの終了位置 (排他的)。

型: [Position](#) オブジェクト

必須: はい

start

スパンの開始位置 (含む)。

型: [Position](#) オブジェクト

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SqsQueueConfiguration

Amazon SQS キューの提案されたアクセスコントロール設定。Amazon SQS ポリシーを指定することで、新しい Amazon SQS キューまたは所有している既存の Amazon SQS キューの設定を提案できます。Amazon SQS 設定が既存の Amazon SQS キュー用であり、Amazon SQS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはキューの既存の Amazon SQS ポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーなしの Amazon SQS キューを想定します。既存の Amazon SQS キューポリシーの削除を提案するには、Amazon SQS ポリシーに空の文字列を指定します。Amazon SQS ポリシーの制限の詳細については、[「ポリシーに関連するクォータ」](#)を参照してください。

内容

queuePolicy

Amazon SQS キューの提案されたリソースポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

StatusReason

アナライザーの現在のステータスに関する詳細を提供します。たとえば、アナライザーの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。組織をタイプとするアナライザーの場合、この障害は、AWS 組織のメンバーアカウントに必要なサービスにリンクされたロールの作成に関する問題が原因である可能性があります。

内容

code

アナライザーの現在のステータスの理由コード。

型: 文字列

有効な値 : AWS_SERVICE_ACCESS_DISABLED |
DELEGATED_ADMINISTRATOR_DEREGISTERED | ORGANIZATION_DELETED |
SERVICE_LINKED_ROLE_CREATION_FAILED

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Substring

JSON ドキュメント内のリテラル文字列の部分文字列への参照。

内容

length

部分文字列の長さ。

タイプ: 整数

必須: はい

start

0 から始まる部分文字列の開始インデックス。

タイプ: 整数

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Trail

ポリシーを生成するために分析される CloudTrail 証跡の詳細が含まれます。

内容

cloudTrailArn

証跡の ARN を指定します。証跡 ARN の形式は `arn:aws:cloudtrail:us-east-2:123456789012:trail/MyTrail` です。

タイプ: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:cloudtrail:[^:]*:[^:]*:trail/.[1,576}`

必須: はい

allRegions

想定される値は、`true` または `false` です。に設定すると `true`、IAM Access Analyzer はすべてのリージョンから CloudTrail データを取得し、ポリシーを分析して生成します。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

regions

CloudTrail データを取得して分析し、ポリシーを生成するリージョンのリスト。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

TrailProperties

ポリシーを生成するために分析される CloudTrail 証跡の詳細が含まれます。

内容

cloudTrailArn

証跡の ARN を指定します。証跡 ARN の形式は `arn:aws:cloudtrail:us-east-2:123456789012:trail/MyTrail` です。

タイプ: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:cloudtrail:[^:]*:[^:]*:trail/.[1,576}`

必須: はい

allRegions

想定される値は、`true` または `false` です。に設定すると `true`、IAM Access Analyzer はすべてのリージョンから CloudTrail データを取得し、ポリシーを分析して生成します。

タイプ: ブール値

必須: いいえ

regions

CloudTrail データを取得して分析し、ポリシーを生成するリージョンのリスト。

型: 文字列の配列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedAccessConfiguration

未使用のアクセスアナライザーに関する情報が含まれています。

内容

analysisRule

アナライザーの分析ルールに関する情報が含まれています。分析ルールは、ルールの作成時に定義した基準に基づいて、結果を生成するエンティティを決定します。

型: [AnalysisRule](#) オブジェクト

必須: いいえ

unusedAccessAge

未使用のアクセスの検出結果を生成する日数で指定されたアクセス期間。たとえば、90 日を指定した場合、アナライザーは、アナライザーの前のスキャンから 90 日以上使用されていないアクセスについて、選択した組織のアカウント内の IAM エンティティの検出結果を生成します。1 ~ 365 日の値を選択できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedAccessFindingsStatistics

指定された未使用のアクセスアナライザーの検出結果に関する集計統計を提供します。

内容

topAccounts

未使用のアクセスアナライザーに対して最もアクティブな検出結果 AWS アカウント を持つ 1 ~ 10 のリスト。

型: [FindingAggregationAccountDetails](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 10 項目です。

必須: いいえ

totalActiveFindings

未使用のアクセスアナライザーのアクティブな検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalArchivedFindings

未使用のアクセスアナライザーのアーカイブされた検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

totalResolvedFindings

未使用のアクセスアナライザーで解決された検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

unusedAccessTypeStatistics

アナライザーの未使用アクセスのタイプごとの検出結果の合計数に関する詳細のリスト。

タイプ: [UnusedAccessTypeStatistics](#) オブジェクトの配列

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedAccessTypeStatistics

未使用のアクセスタイプの検出結果の総数に関する情報が含まれます。

内容

total

指定された未使用のアクセスタイプの検出結果の合計数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

unusedAccessType

未使用のアクセスのタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedAction

アクションの未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

内容

action

未使用のアクセス検出結果が生成されたアクション。

タイプ: 文字列

必須: はい

lastAccessed

アクションが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedIamRoleDetails

IAM ロールの未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれています。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

内容

lastAccessed

ロールが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedIamUserAccessKeyDetails

IAM ユーザーアクセスキーの未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれています。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

内容

accessKeyId

未使用のアクセス検出結果が生成されたアクセスキーの ID。

タイプ: 文字列

必須: はい

lastAccessed

アクセスキーが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedIamUserPasswordDetails

IAM ユーザーパスワードの未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれています。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

内容

lastAccessed

パスワードが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedPermissionDetails

アクセス許可の未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

内容

serviceNamespace

未使用のアクションを含む AWS サービスの名前空間。

タイプ: 文字列

必須: はい

actions

未使用のアクセス検出結果が生成された未使用のアクションのリスト。

タイプ: [UnusedAction](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

lastAccessed

アクセス許可が最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnusedPermissionsRecommendedStep

未使用のアクセス許可の調査結果に、ポリシーに対して実行するアクションに関する情報が含まれます。

内容

recommendedAction

未使用のアクセス許可の検出結果のポリシーを作成またはデタッチするかどうかに関する推奨事項。

型: 文字列

有効な値: CREATE_POLICY | DETACH_POLICY

必須: はい

existingPolicyId

未使用のアクセス許可の検出結果で推奨されるアクションがポリシーをデタッチする場合、デタッチする既存のポリシーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

policyUpdatedAt

未使用のアクセス許可の検出結果の既存のポリシーが最後に更新された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

recommendedPolicy

未使用のアクセス許可の検出結果に推奨されるアクションが既存のポリシーを置き換えることである場合、existingPolicyId フィールドで指定されたポリシーを置き換える推奨ポリシーの内容。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ValidatePolicyFinding

ポリシー内の検出結果。各検出結果は、ポリシーの改善に使用できる実用的な推奨事項です。

内容

findingDetails

検出結果について説明し、それに対処する方法についてのガイダンスを提供するローカライズされたメッセージ。

タイプ: 文字列

必須: はい

findingType

検出結果の影響。

セキュリティ警告は、ポリシーが過度に許容されていると見なすアクセスを許可すると報告します。

エラーは、ポリシーの一部が機能していない場合に報告されます。

ポリシーがポリシー記述のベストプラクティスに準拠していない場合、警告はセキュリティ以外の問題を報告します。

提案では、アクセスに影響を与えないポリシーのスタイル改善を推奨しています。

型: 文字列

有効な値 : ERROR | SECURITY_WARNING | SUGGESTION | WARNING

必須: はい

issueCode

問題コードは、この検出結果に関連する問題の識別子を提供します。

タイプ: 文字列

必須: はい

learnMoreLink

検出結果のタイプに関する追加ドキュメントへのリンク。

タイプ: 文字列

必須: はい

locations

結果に関連するポリシードキュメント内の場所のリスト。問題コードは、検出結果によって識別される問題の概要を提供します。

型: [Location](#) オブジェクトの配列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ValidationExceptionField

検証例外に関する情報が含まれます。

内容

message

検証例外に関するメッセージ。

タイプ: 文字列

必須: はい

name

検証例外の名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

VpcConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントの仮想プライベートクラウド (VPC) 設定案。VPC 設定は、マルチリージョンアクセスポイントには適用されません。詳細については、「[VpcConfiguration](#)」を参照してください。

内容

vpclId

このフィールドを指定した場合、このアクセスポイントは指定された VPC ID からの接続のみを許可します。

タイプ: 文字列

Pattern: vpc-([0-9a-f]){8}(([0-9a-f]){9})?

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

共通パラメータ

次のリストには、すべてのアクションが署名バージョン 4 リクエストにクエリ文字列で署名するために使用するパラメータを示します。アクション固有のパラメータは、アクションのトピックに示されています。署名バージョン 4 の詳細については、IAM ユーザーガイドの [AWS API リクエストの署名](#) を参照してください。

X-Amz-Algorithm

リクエストの署名を作成するのに使用したハッシュアルゴリズム。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

有効な値 : AWS4-HMAC-SHA256

必須: 条件による

X-Amz-Credential

認証情報スコープの値で、アクセスキー、日付、対象とするリージョン、リクエストしているサービス、および終了文字列 ("aws4_request") を含む文字列です。値は次の形式で表現されます: [access_key/YYYYMMDD/リージョン/サービス/aws4_request]。

詳細については、IAM [ユーザーガイドの「署名付き AWS API リクエストの作成」](#) を参照してください。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Date

署名を作成するときに使用する日付です。形式は ISO 8601 基本形式の YYYYMMDD'T'HHMMSS'Z' でなければなりません。例えば、日付 20120325T120000Z は、有効な X-Amz-Date の値です。

条件: X-Amz-Date はすべてのリクエストに対してオプションです。署名リクエストで使用する日付よりも優先される日付として使用できます。ISO 8601 ベーシック形式で日付ヘッダーが指定されている場合、X-Amz-Date は必要ありません。X-Amz-Date を使用すると、常に Date ヘッダーの値よりも優先されます。詳細については、IAM ユーザーガイドの [AWS API リクエスト署名の要素](#) を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Security-Token

AWS Security Token Service () の呼び出しによって取得された一時的なセキュリティトークン AWS STS。AWS STSの一時的なセキュリティ認証情報をサポートするサービスのリストについては、「IAM ユーザーガイド」の [IAM と連携するAWS のサービス](#) を参照してください。

条件: から一時的なセキュリティ認証情報を使用している場合は AWS STS、セキュリティトークンを含める必要があります。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Signature

署名する文字列と派生署名キーから計算された 16 進符号化署名を指定します。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-SignedHeaders

正規リクエストの一部として含まれていたすべての HTTP ヘッダーを指定します。署名付きヘッダーの指定の詳細については、IAM [ユーザーガイドの「署名付き AWS API リクエストの作成」](#) を参照してください。

条件: HTTP 認可ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

一般的なエラータイプ

このセクションでは、この AWS サービスが返す可能性のある一般的なエラータイプを一覧表示します。すべてのサービスが、ここにリストされているすべてのエラータイプを返すわけではありません。このサービスの API アクションに固有のエラーについては、その API アクションのトピックを参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行するためのアクセス許可がありません。IAM ポリシーに必要なアクセス許可が含まれていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 403

ExpiredTokenException

リクエストに含まれるセキュリティトークンの有効期限が切れています。新しいセキュリティトークンをリクエストして、もう一度試してください。

HTTP ステータスコード: 403

IncompleteSignature

リクエスト署名が AWS 標準に準拠していません。有効な AWS 認証情報を使用し、リクエストの形式が適切であることを確認します。SDK を使用している場合は、最新の状態であることを確認します。

HTTP ステータスコード: 403

InternalFailure

内部サーバーの問題のため、リクエストは現在処理できません。後でもう一度お試しください。問題が解決しない場合は、AWS サポートにお問い合わせください。

HTTP ステータスコード: 500

MalformedHttpRequestException

リクエスト本文を処理できません。これは通常、指定されたコンテンツエンコーディングアルゴリズムを使用してリクエストボディを解凍できない場合に発生します。コンテンツエンコーディングヘッダーが、使用される圧縮形式と一致していることを確認します。

HTTP ステータスコード: 400

NotAuthorized

このアクションを実行するアクセス許可がありません。IAM ポリシーに必要なアクセス許可が含まれていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 401

OptInRequired

AWS アカウントには、このサービスのサブスクリプションが必要です。アカウントでサービスが有効になっていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 403

RequestAbortedException

リクエストは、レスポンスが返される前に中止されました。これは通常、クライアントが接続を閉じたときに発生します。

HTTP ステータスコード: 400

RequestEntityTooLargeException

リクエストエンティティが大きすぎます。リクエスト本文のサイズを小さくして、もう一度試してください。

HTTP ステータスコード: 413

RequestTimeoutException

リクエストがタイムアウトしました。サーバーは、予想される期間内に完全なリクエストを受信しませんでした。もう一度試してください。

HTTP ステータスコード: 408

ServiceUnavailable

サービスが一時的に使用できません 後でもう一度お試しください。

HTTP ステータスコード: 503

ThrottlingException

リクエストの頻度が多すぎます。AWS SDKsこの例外を受け取るリクエストを自動的に再試行します。リクエストの頻度を少なくしてください。

HTTP ステータスコード: 400

UnknownOperationException

アクションまたはオペレーションは認識されません。アクション名のスペルが正しく、使用している API バージョンでサポートされていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 404

UnrecognizedClientException

指定した X.509 証明書または AWS アクセスキー ID がレコードに存在しません。有効な認証情報を使用し、有効期限が切れていないことを確認します。

HTTP ステータスコード: 403

ValidationError

入力が必要な形式または制約を満たしていません。すべての必須パラメータが含まれ、値が有効であることを確認します。

HTTP ステータスコード: 400

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。